

現在の感染・療養状況等について

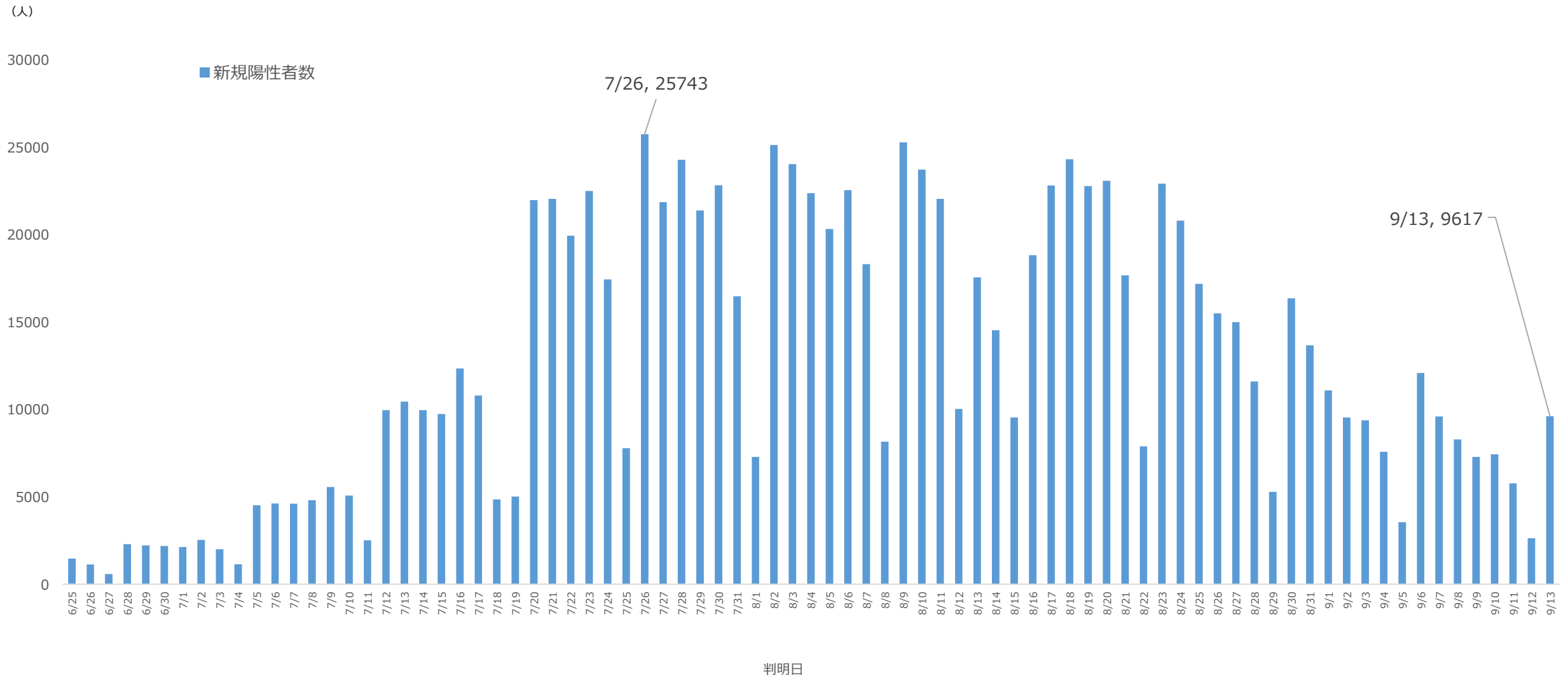
大阪府健康医療部

- | | | |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P3～10 |
| 2 | 入院・療養状況 | P11～17 |
| 3 | 第七波における大阪府の取組み | P18～22 |
| 4 | 全数届出の見直しにかかる大阪府の対応 | P23～45 |

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移（9月13日時点）

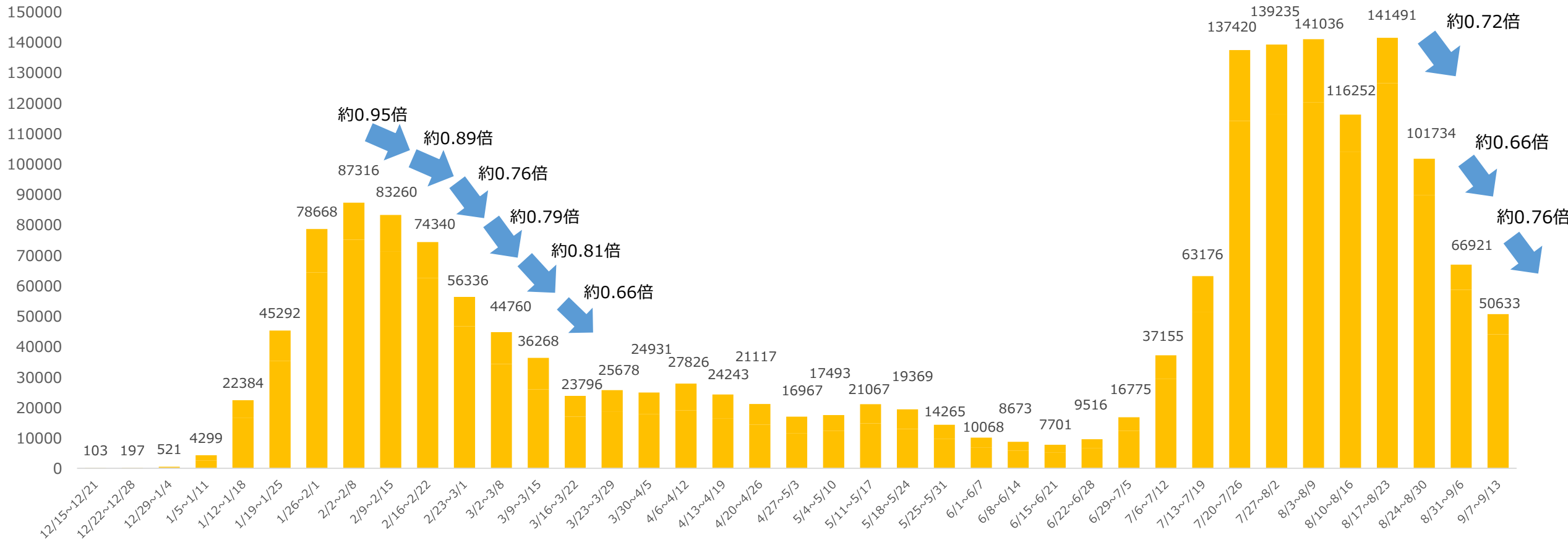
◆ 新規陽性者数は減少傾向にあり、9月13日に9,617人を確認。



7日間毎の新規陽性者数(9月13日時点)

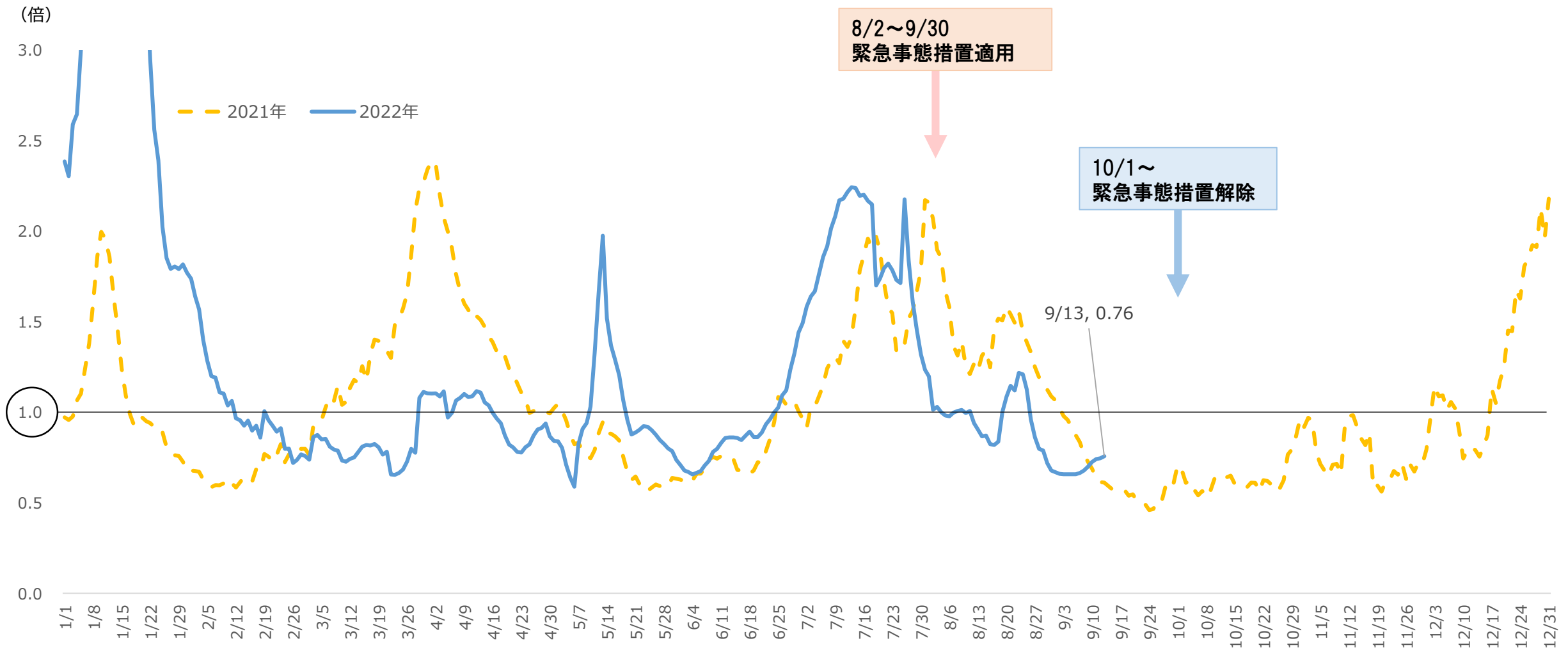
◆ 新規陽性者数の前週比は約0.76倍と、減少傾向が続いているが、減少速度はやや鈍化。
直近1週間の新規陽性者数は約7,233人/日。

(人)



新規陽性者数 前週増加比 (9月13日時点)

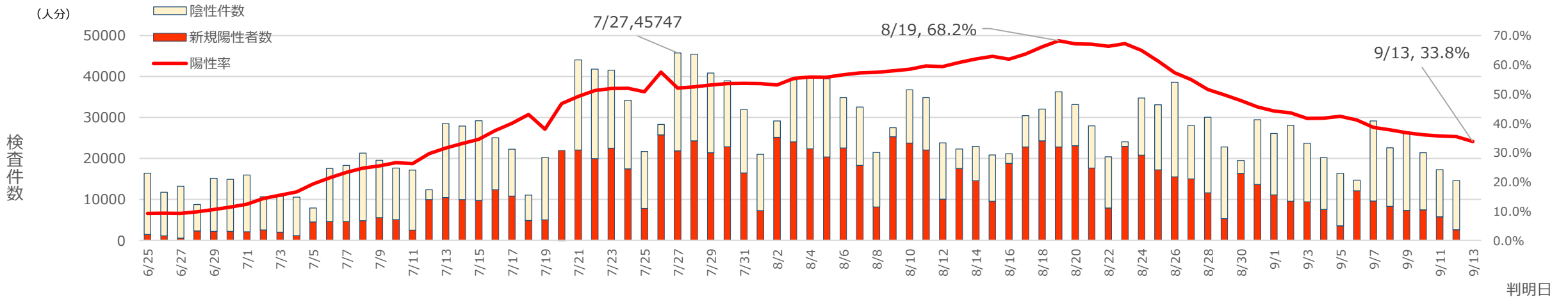
◆ 新規陽性者数の前週増加比は、約0.76倍と1を下回るが、直近では増加傾向。



検査件数と陽性率（9月13日時点）

- ◆ 陽性率は、9月13日時点で33.8%。
- ◆ 自費検査の陽性判明率は、8/29~9/4で6.7%、無料検査は4.6%で減少。
若年輕症者無料検査センターでの陽性率は19.5%で減少。

【行政検査】



※算出方法：「1週間の陽性者数（疑似症を除く）／1週間の検体採取をした人数」 ※ 陽性者数には、若年輕症者オンライン診療スキームにより発生届が提出された人数を含むが、検査件数には、当該スキームに基づく検査数を含めていない

【自費検査】

自費検査提供機関（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
8/22~8/28	6,479 件	628 名	9.7 %
8/29~9/4	4,786 件	322 名	6.7 %

【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数
(ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計)

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
8/22~8/28	99,122 件	5,895 名	5.9 %
8/29~9/4	71,940 件	3,322 名	4.6 %

【若年輕症者無料検査センター】

若年輕症者無料検査センターで実施された検査件数

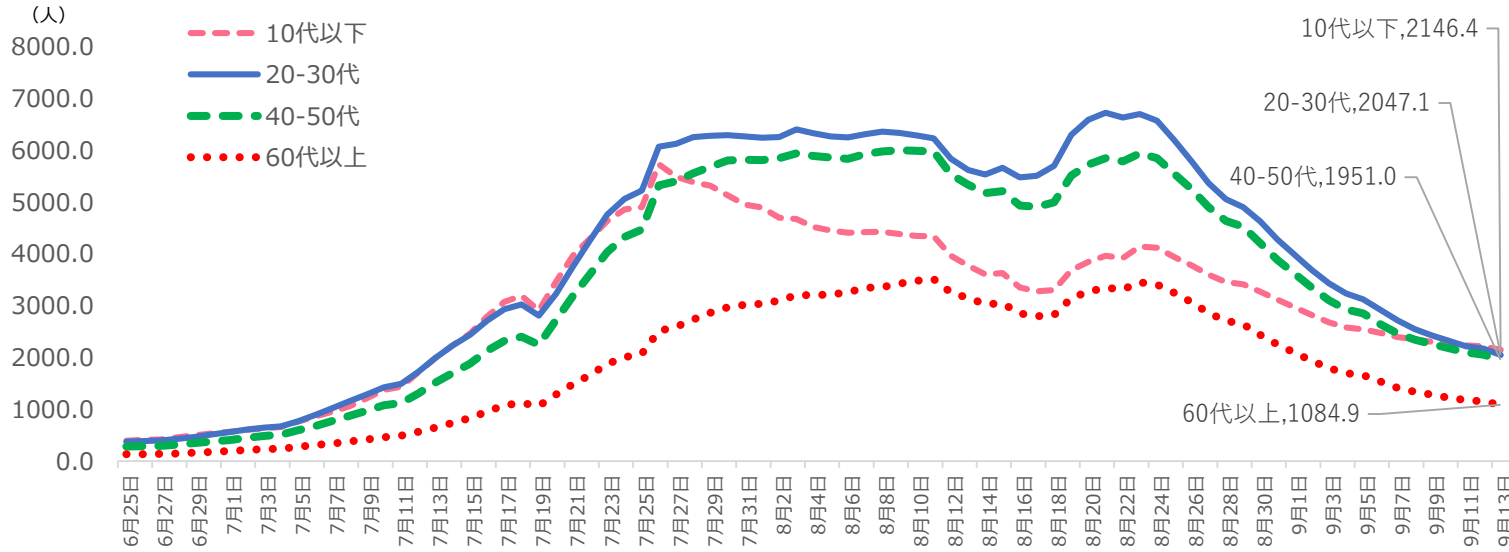
期間	若年輕症者無料検査件数	陽性者数	陽性率
8/22~8/28	24,283 件	5,654 名	23.3 %
8/29~9/4	20,863 件	4,077 名	19.5 %

※このほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査を実施。
※陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査、若年輕症者無料検査センターのいずれかで陽性となったかは区別ができない。)

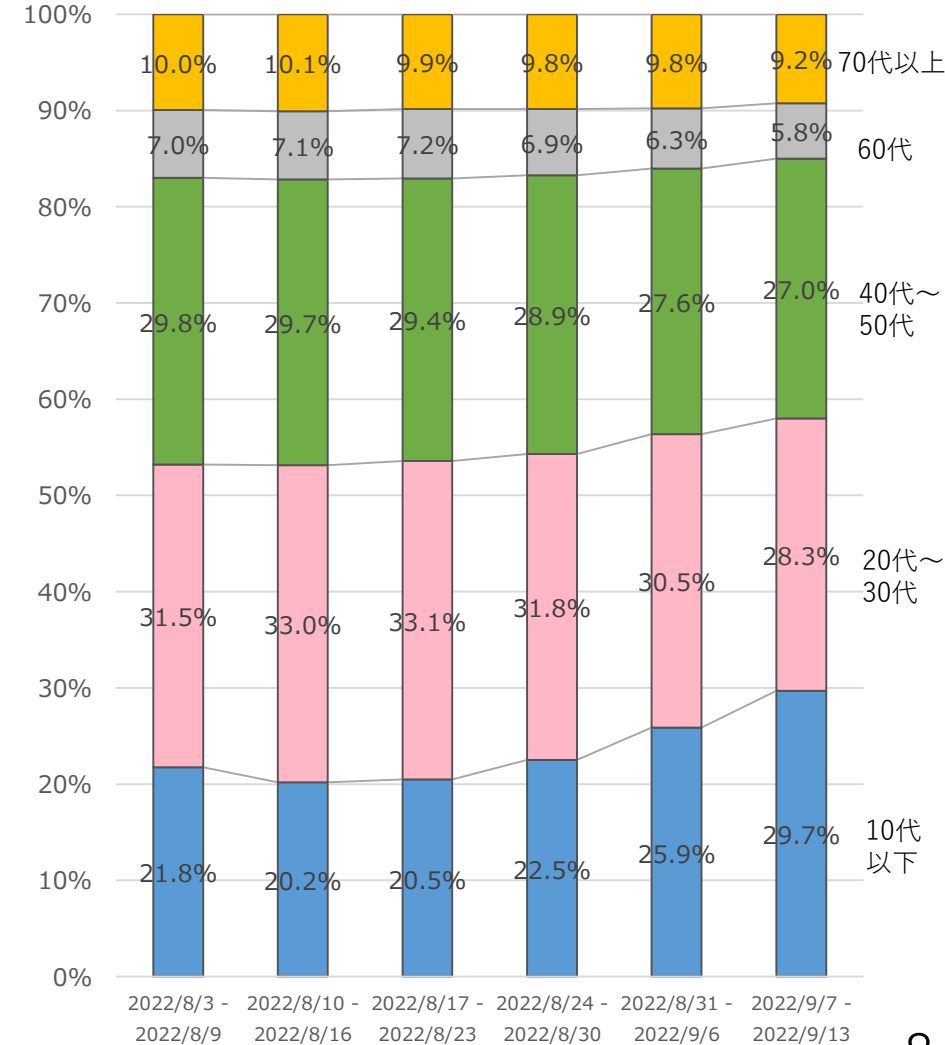
年代別新規陽性者数の推移 (9月13日時点)

- ◆ 年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) は、減少が継続。
- ◆ 直近1週間の新規陽性者の年齢区分 (全陽性者数に占める割合) は、60代以上の割合がやや減少し、15.0%。また、学校の再開に伴い、8月下旬以降、10代以下の割合が増加し、直近では29.7%。

【年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) の推移】



【陽性者の年齢区分 (割合、1週間単位)】



【年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) 前日増加比】

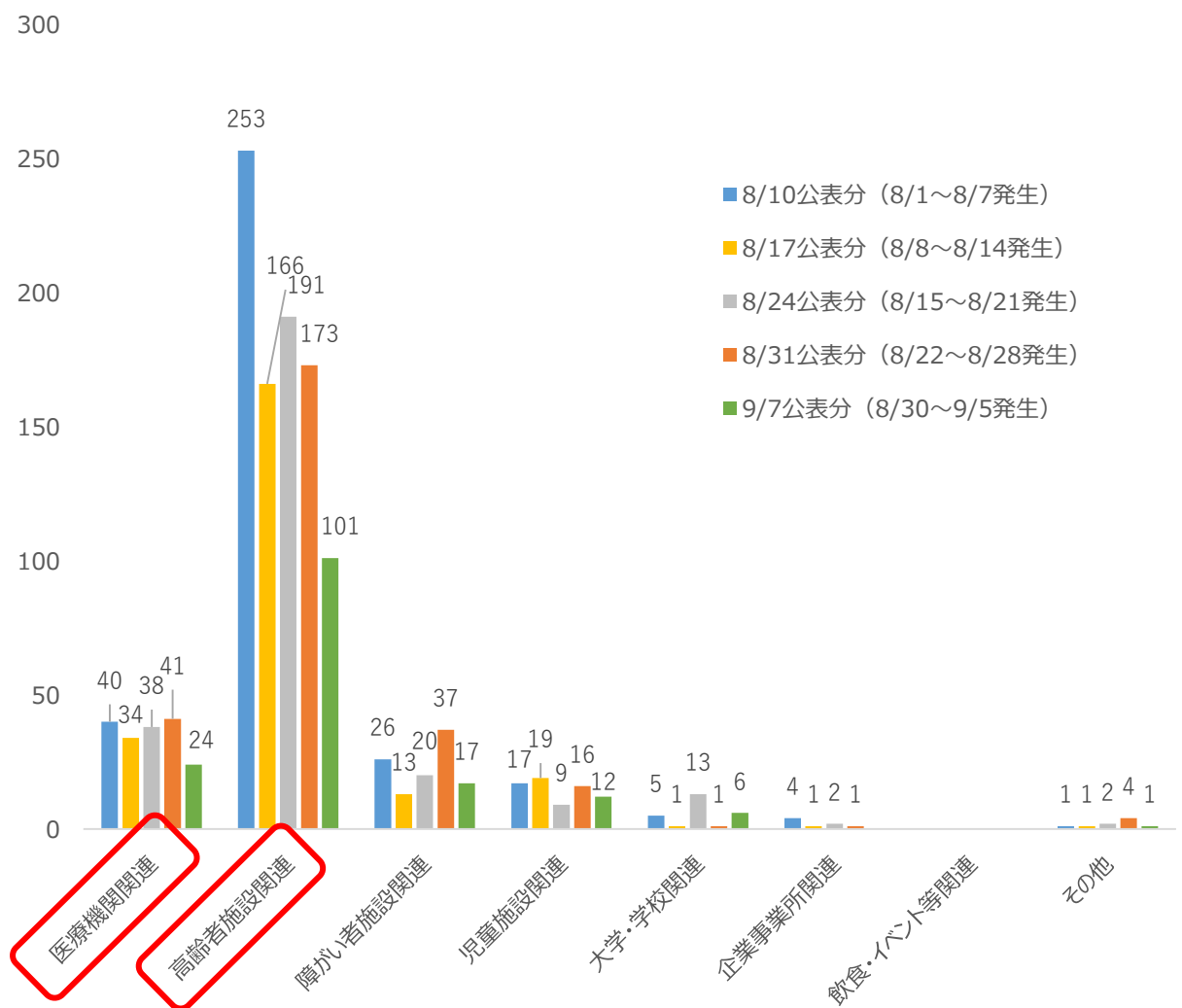
	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10代以下	0.96	0.95	0.95	0.95	0.95	0.96	0.99	0.97	0.97	0.98	0.98	0.99	0.98	0.99	0.97
20~30代	0.94	0.92	0.93	0.93	0.93	0.94	0.97	0.93	0.93	0.94	0.95	0.96	0.95	0.98	0.94
40~50代	0.93	0.92	0.93	0.93	0.93	0.94	0.98	0.93	0.93	0.95	0.96	0.96	0.97	0.98	0.95
60代以上	0.92	0.93	0.93	0.92	0.93	0.94	0.98	0.93	0.92	0.95	0.96	0.95	0.97	0.98	0.94

前日増加比が1を超過した日

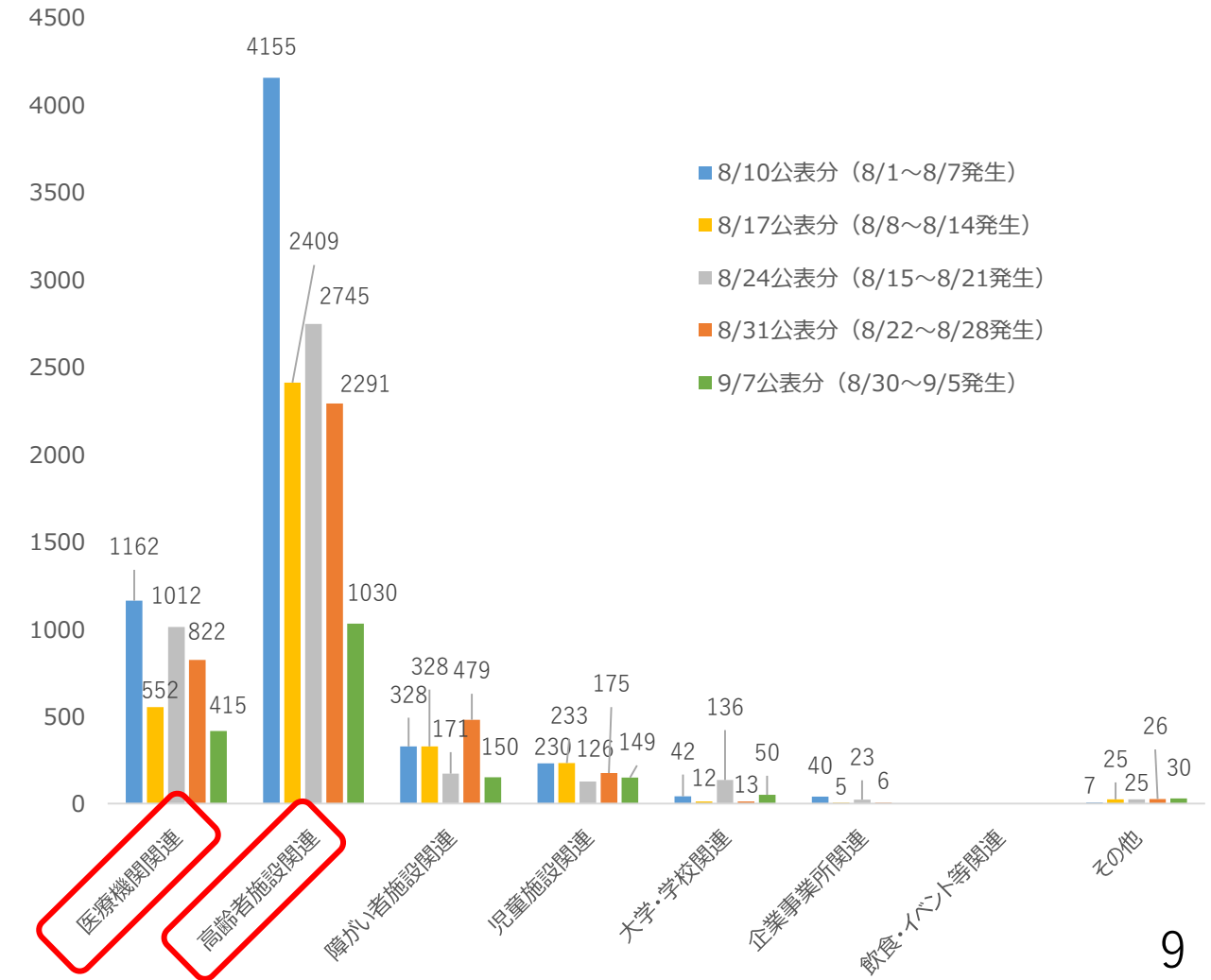
クラスター状況【実数】（発生週別）（9月7日公表時点）

◆ 8月30日から9月5日までの1週間で発生した医療機関関連及び高齢者施設関連のクラスター発生施設数及び陽性者数は、減少。

クラスターの施設数



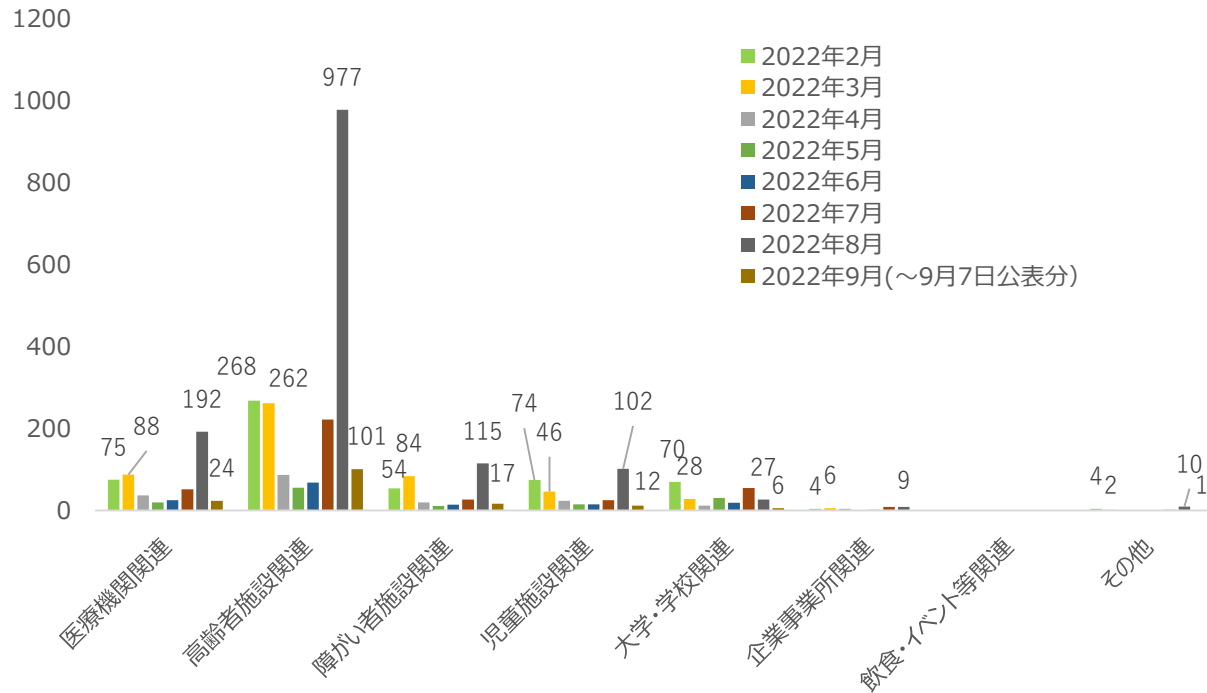
クラスターの陽性者数



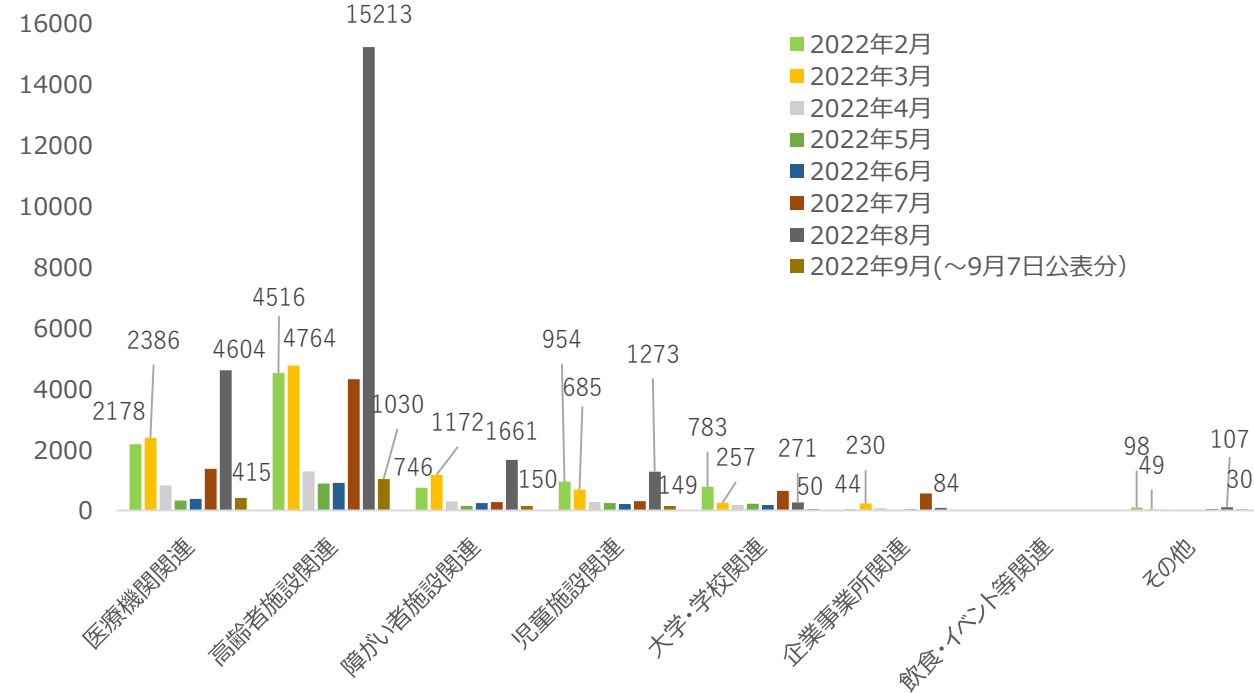
クラスター状況【実数】（公表日別 月単位）（9月7日公表時点）

◆ 1施設あたりの陽性者数（単純計算）は、第六波に比べると依然、少ない（規模の大きいクラスターは一部存在）。

クラスターの施設数



クラスターの陽性者数



【参考】1施設あたりの陽性者数（単純計算）（9/7公表(9/5発生)時点）

クラスター発生数 (9/7公表(9/5発生)時点)		第六波 (190日)	第七波 (72日)
医療機関 関連	施設数	268	269
	陽性者数	6,601	6,428
高齢者施設 関連	施設数	797	1,302
	陽性者数	13,397	20,624

	第六波 (ピーク時)		第七波	
	2月	3月	8月	9月
医療機関 関連	29.0人 (2,178人/75施設)	27.1人 (2,386人/88施設)	24.0人 (4,604人/192施設)	17.3人 (415人/24施設)
高齢者施設 関連	16.9人 (4,516人/268施設)	18.2人 (4,764人/262施設)	15.6人 (15,213人/977施設)	10.2人 (1,030人/101施設)

※ 8・9月は収束していないクラスターを含む。また、オミクロン株は感染性が高いため、規模の大きいクラスターが一部存

2 入院・療養状況

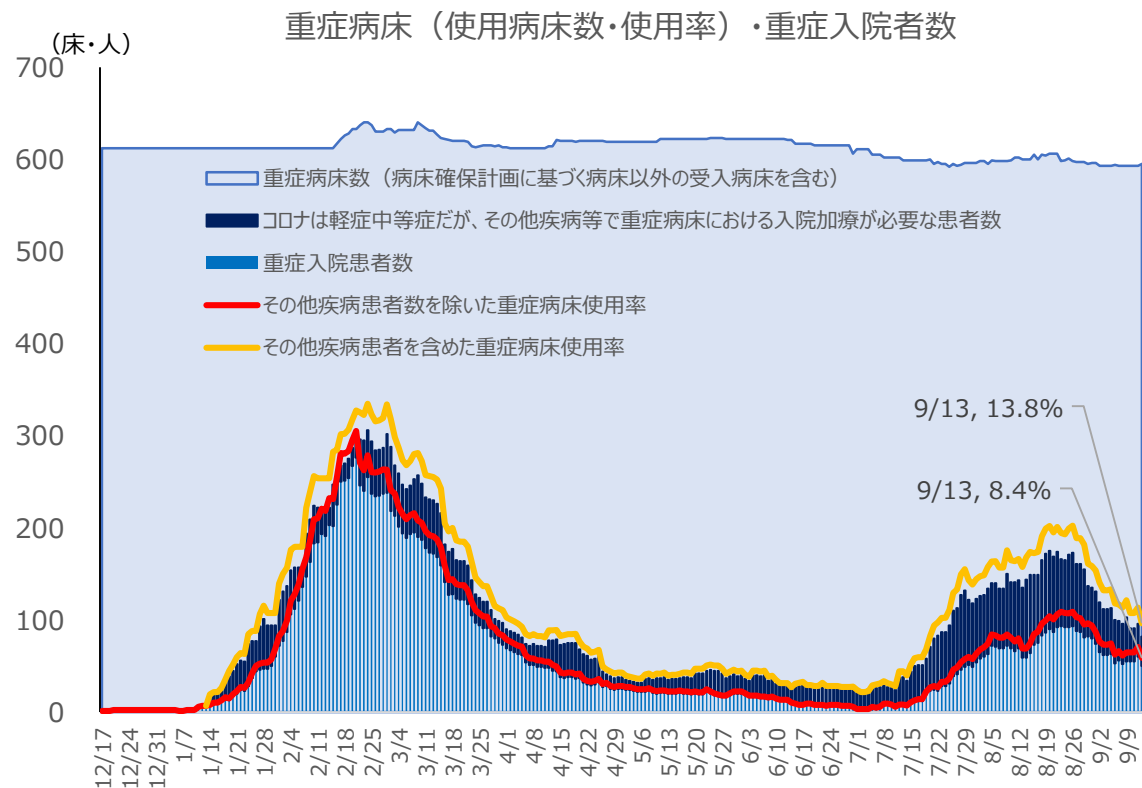
新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ 重症病床使用率（コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を除く）は、9月13日時点で8.4%と減少傾向。

● 確保病床と使用率

9月13日現在 **病床使用率8.4% (13.8%)**
病床数 595床 入院患者数 50人 (82人)

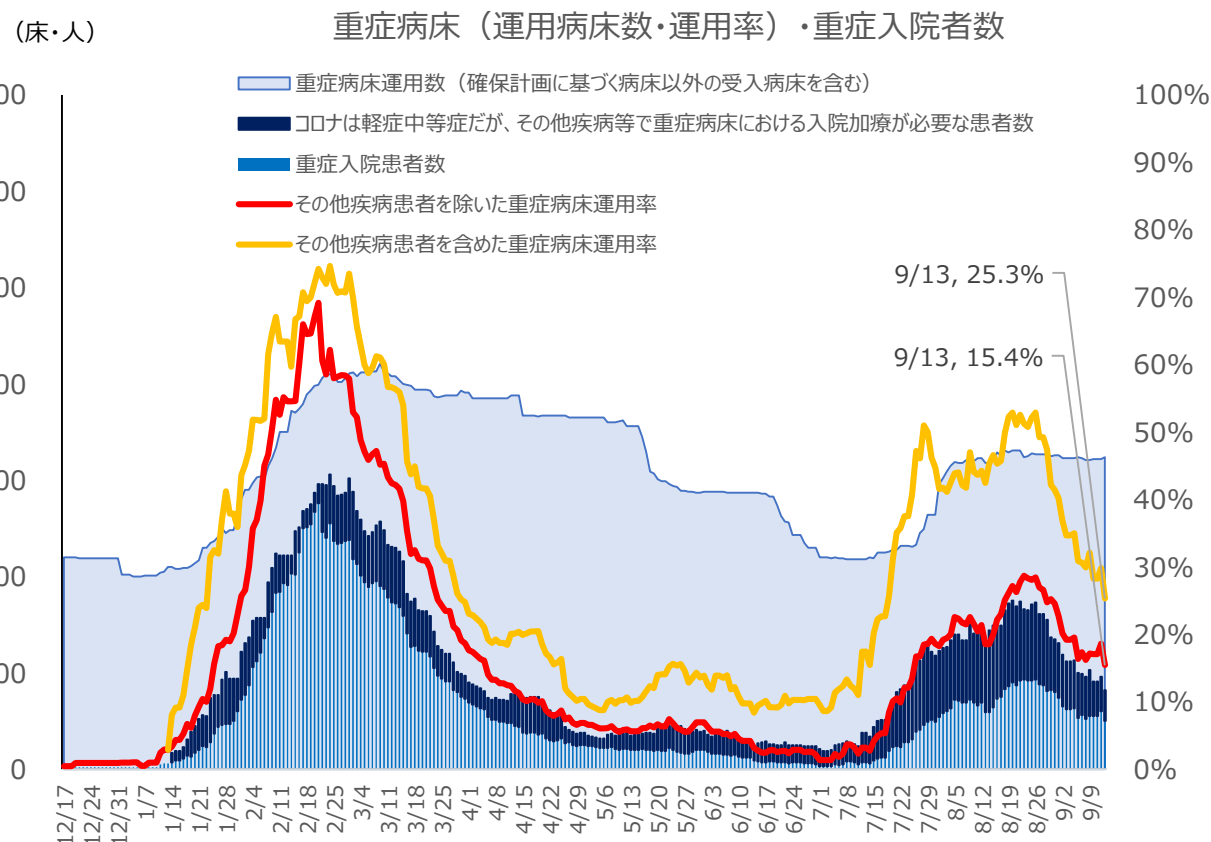
※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数2床を含める
 ※ () の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数32人を含めた場合の率と患者数



● 運用病床と運用率

9月13日現在 **病床運用率15.4% (25.3%)**
運用病床数 324床 入院患者数 50人 (82人)

※左記に同じ



※ 9月14日、受入医療機関に対し、フェーズ2（240床）への移行を通知予定

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

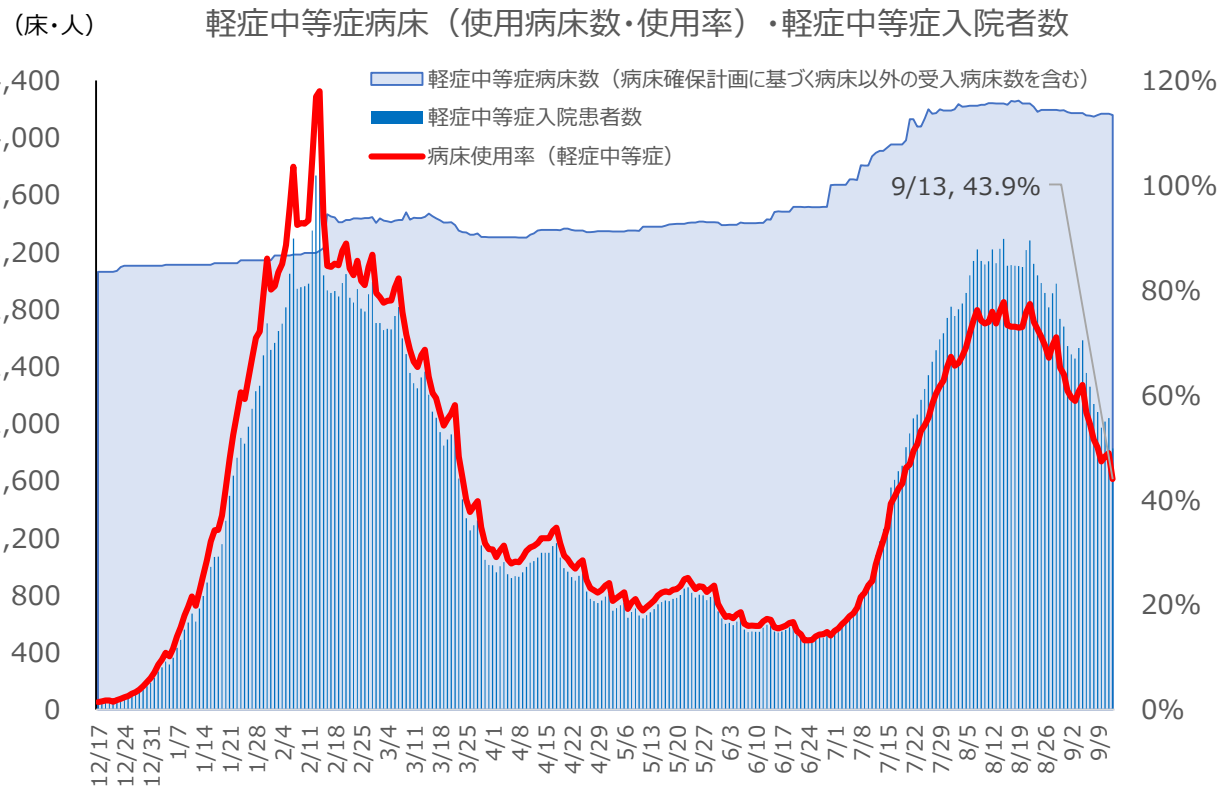
◆ 軽症中等症病床使用率は、9月13日時点で43.9%と減少傾向。

● 確保病床と使用率

9月13日現在 **病床使用率43.9%**

病床数 4,158床 入院患者数1,827人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数11床を含める
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数32人を含める。

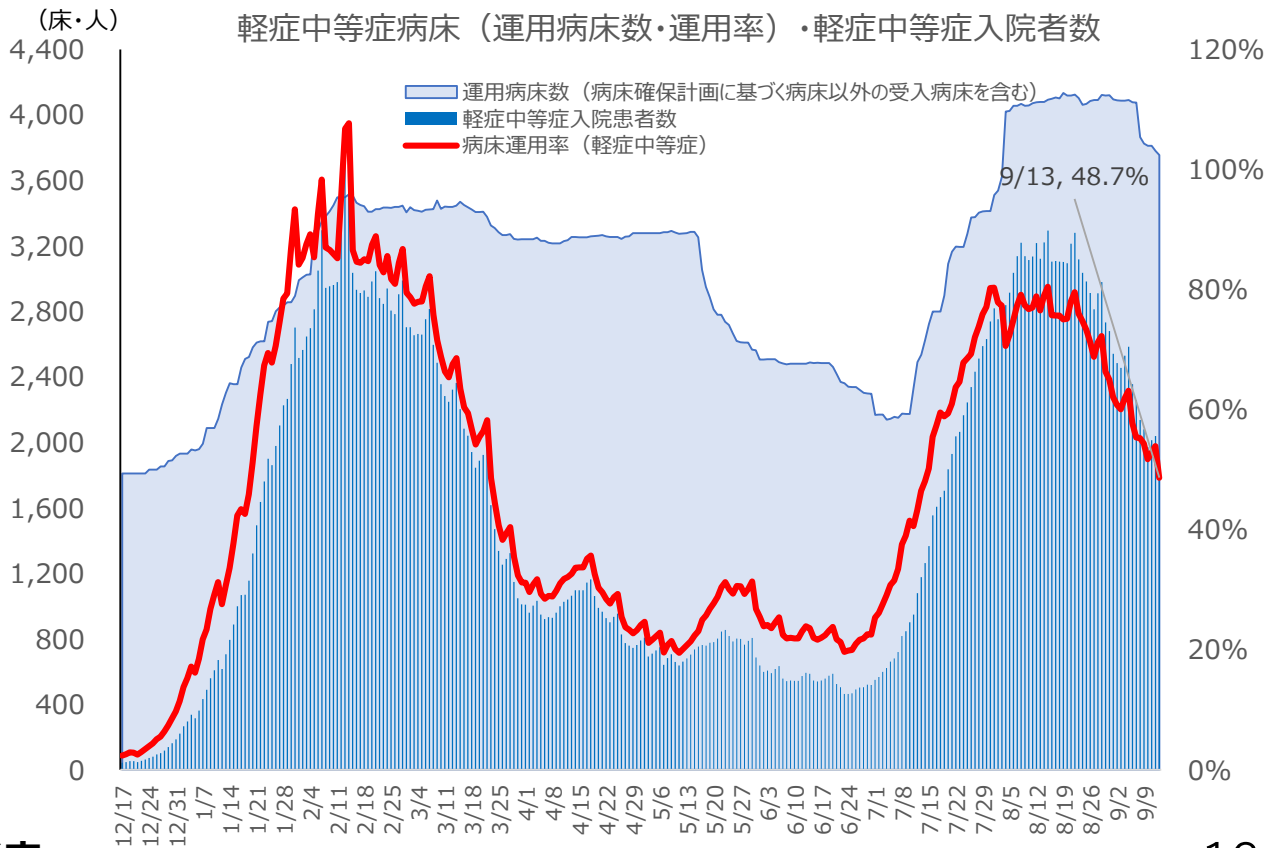


● 運用病床と運用率

9月13日現在 **病床運用率48.7%**

運用病床数 3,755床 入院患者数1,827人

※左記に同じ



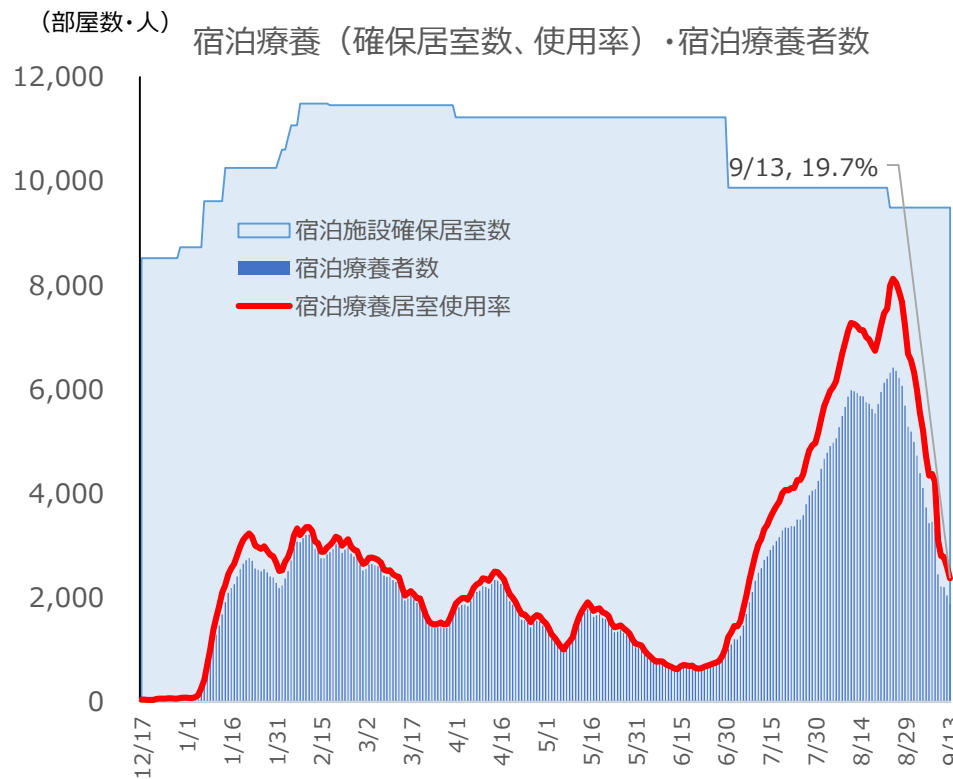
※ 9月14日、受入医療機関に対し、フェーズ4（3,050床）への移行を通知予定

新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

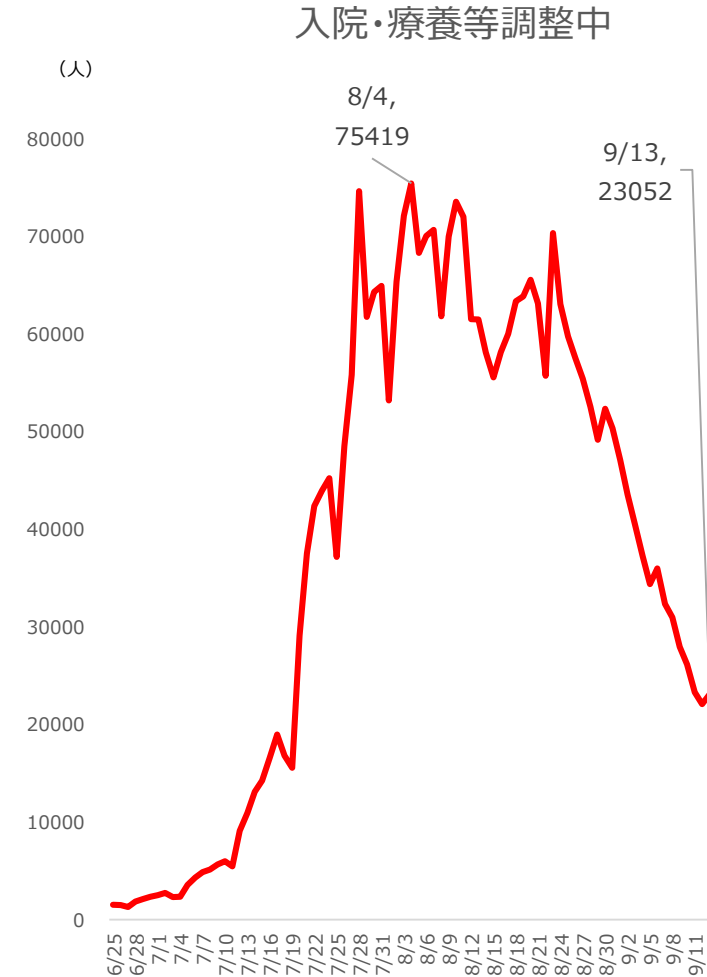
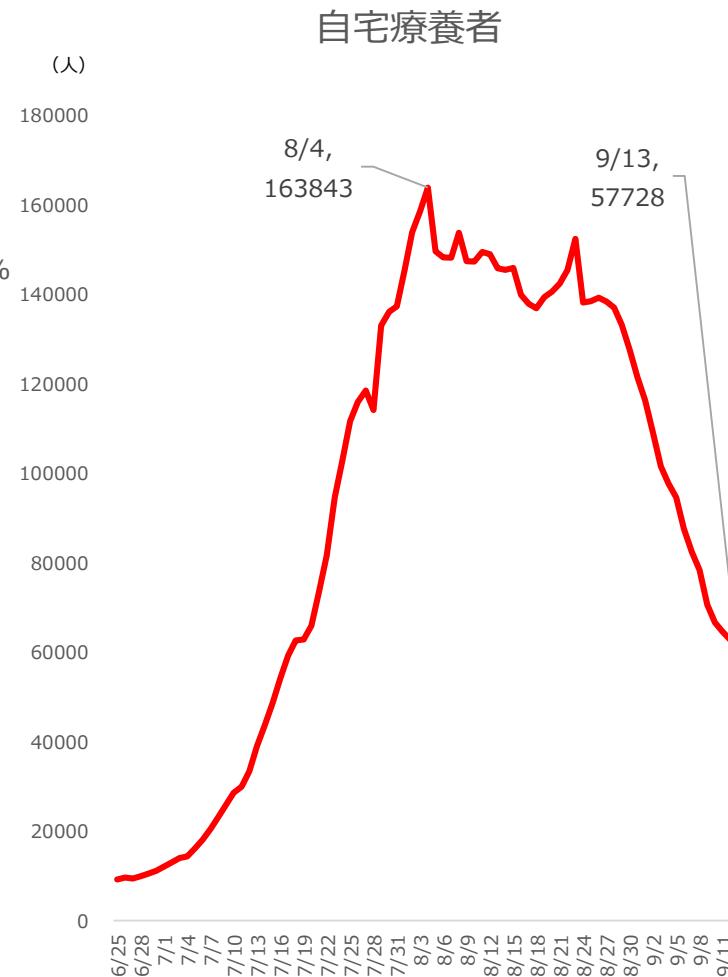
- ◆ 宿泊療養施設居室使用率は、9月13日時点で19.7%と減少傾向。
- ◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は80,780人と減少傾向。

● 宿泊療養施設使用状況

9月13日現在 使用率19.7%
居室使用数9,480室 療養者数 1,871人
運用率19.8%（運用居室数9,448室）



● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数



※ 9月14日、フェーズ5（6000室）へ引き下げ予定

年代別重症化率の推移（陽性判明日別）（令和4年9月11日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（R3/4/6～7/12、R4/2/16～4/12、8/1～8/22）や他府県で受け入れている重症者（R3/4/22～5/10）を含む。

重症化率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波（9/11時点） (R4/6/25-)		
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	1	0.1%	1256	1	0.1%	4858	0	0.0%	67580	10	0.01%	65212	12	0.02%
就学児	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3121	0	0.0%	52642	3	0.01%	47488	4	0.01%
10代	47	1	2.1%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4631	1	0.0%	14445	3	0.0%	129471	7	0.01%	133944	4	0.00%
20代	364	2	0.5%	2996	1	0.0%	7079	2	0.0%	12138	21	0.2%	27012	25	0.1%	133701	12	0.01%	164295	11	0.01%
30代	290	5	1.7%	1424	2	0.1%	4654	14	0.3%	7640	40	0.5%	17066	74	0.4%	122358	10	0.01%	153841	5	0.00%
40代	306	13	4.2%	1160	14	1.2%	4851	42	0.9%	8223	146	1.8%	15521	229	1.5%	118783	47	0.04%	158083	14	0.01%
50代	258	23	8.9%	1047	38	3.6%	4994	142	2.8%	7622	348	4.6%	10942	324	3.0%	75101	79	0.11%	126552	37	0.03%
60代	161	35	21.7%	628	49	7.8%	3393	246	7.3%	4582	420	9.2%	3690	181	4.9%	37402	122	0.33%	64515	46	0.07%
70代	176	49	27.8%	580	79	13.6%	3657	451	12.3%	4378	564	12.9%	2221	121	5.4%	30453	339	1.11%	48891	90	0.18%
80代	118	18	15.3%	449	46	10.2%	2797	224	8.0%	3021	200	6.6%	1494	61	4.1%	23229	227	0.98%	31038	94	0.30%
90代	30	1	3.3%	145	3	2.1%	899	26	2.9%	923	16	1.7%	397	6	1.5%	8596	39	0.45%	9886	15	0.15%
100代	4	0	0.0%	3	0	0.0%	36	0	0.0%	46	0	0.0%	19	0	0.0%	431	3	0.70%	431	0	0.00%
【再】 70代以上	328	68	20.7%	1177	128	10.9%	7389	701	9.5%	8368	780	9.3%	4131	188	4.6%	62709	608	0.97%	90246	199	0.22%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	800932	898	0.11%	1005072	332	0.03%

※重症化率：新規陽性者数に占める重症者の割合。

※重症化率は9月11日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

年代別死亡率の推移（陽性判明日別）（令和4年9月11日時点）

死亡率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波（9/11時点） (R4/6/25-)		
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	0	0.0%	1256	0	0.0%	4858	0	0.0%	67580	0	0.00%	65212	0	0.00%
就学児	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3121	0	0.0%	52642	0	0.00%	47488	0	0.00%
10代	47	0	0.0%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4631	0	0.0%	14445	1	0.0%	129471	1	0.00%	133944	1	0.00%
20代	364	0	0.0%	2996	0	0.0%	7079	0	0.0%	12138	1	0.0%	27012	0	0.0%	133701	0	0.00%	164295	2	0.00%
30代	290	0	0.0%	1424	0	0.0%	4654	1	0.0%	7640	6	0.1%	17066	4	0.0%	122358	0	0.00%	153841	2	0.00%
40代	306	3	1.0%	1160	0	0.0%	4851	3	0.1%	8223	19	0.2%	15521	19	0.1%	118783	16	0.01%	158083	9	0.01%
50代	258	3	1.2%	1047	4	0.4%	4994	14	0.3%	7622	69	0.9%	10942	44	0.4%	75101	41	0.05%	126552	31	0.02%
60代	161	9	5.6%	628	13	2.1%	3393	55	1.6%	4582	137	3.0%	3690	48	1.3%	37402	110	0.29%	64515	63	0.10%
70代	176	29	16.5%	580	31	5.3%	3657	239	6.5%	4378	433	9.9%	2221	80	3.6%	30453	489	1.61%	48891	206	0.42%
80代	118	31	26.3%	449	70	15.6%	2797	414	14.8%	3021	606	20.1%	1494	120	8.0%	23229	921	3.96%	31038	411	1.32%
90代	30	10	33.3%	145	24	16.6%	899	202	22.5%	923	258	28.0%	397	38	9.6%	8596	540	6.28%	9886	281	2.84%
100代	4	2	50.0%	3	0	0.0%	36	10	27.8%	46	11	23.9%	19	4	21.1%	431	35	8.12%	431	17	3.94%
【再】 70代以上	328	72	22.0%	1177	125	10.6%	7389	865	11.7%	8368	1308	15.6%	4131	242	5.9%	62709	1985	3.17%	90246	915	1.01%
総計	1786	87	4.9%	9271	142	1.5%	36064	938	2.6%	55318	1540	2.8%	100891	358	0.4%	800932	2153	0.27%	1005072	1023	0.10%

※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。

※死亡率は9月11日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

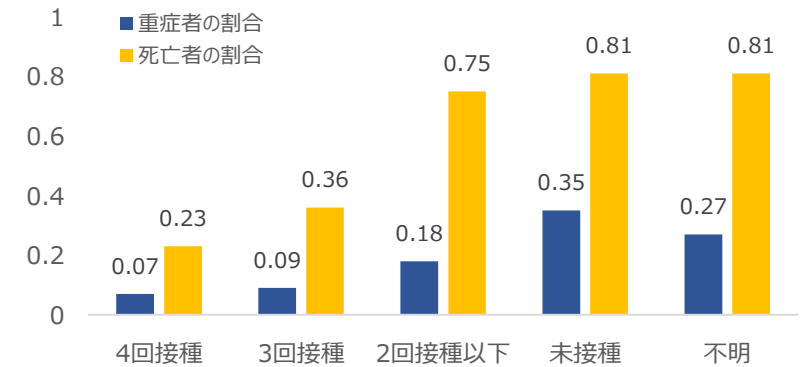
新規陽性者数と重症・死亡例のワクチン接種歴（令和4年8月21日判明時点）

- ◆令和4年6月25日から8月21日に陽性判明した767,228名のうち、ワクチン4回接種済は20,626名（2.69%）、3回接種済は242,816名（31.65%）であった。60代以上の陽性者115,758名のうち、ワクチン4回接種済は17,774名（15.35%）、3回接種済は61,560名（53.18%）であった。
- ◆60代以上新規陽性者では、3回以上接種済者は、未接種者よりも重症者や死亡者の割合が低かった。

	全体の新規陽性者数 (A)	4回接種						3回接種						2回接種以下（2回+1回+接種あり（回数不明））					
		陽性者数 (B)	割合 (B/A)	重症 (C)	重症者の割合 (C/B)	死亡 (D)	死亡者の割合 (D/B)	陽性者数 (E)	割合 (E/A)	重症 (F)	重症者の割合 (F/E)	死亡 (G)	死亡者の割合 (G/E)	陽性者数 (H)	割合 (H/A)	重症 (I)	重症者の割合 (I/H)	死亡 (J)	死亡者の割合 (J/H)
未就学児	46,072	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	301	0.65%	0	0.00%	0	0.00%
就学児	36,841	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1240	3.37%	1	0.08%	0	0.00%
10代	105,763	44	0.04%	0	0.00%	0	0.00%	9259	8.75%	1	0.01%	0	0.00%	32771	30.99%	0	0.00%	0	0.00%
20・30代	244,702	748	0.31%	0	0.00%	0	0.00%	71411	29.18%	2	0.00%	0	0.00%	79892	32.65%	2	0.00%	1	0.00%
40・50代	217130	2020	0.93%	0	0.00%	0	0.00%	100207	46.15%	9	0.01%	6	0.01%	52096	23.99%	4	0.01%	5	0.01%
60代以上	115758	17774	15.35%	13	0.07%	40	0.23%	61560	53.18%	54	0.09%	221	0.36%	8891	7.68%	16	0.18%	67	0.75%
調査中	962	40	4.16%	0	0.00%	0	0.00%	379	39.40%	0	0.00%	0	0.00%	130	13.51%	0	0.00%	0	0.00%
総計	767228	20626	2.69%	13	0.06%	40	0.19%	242816	31.65%	66	0.03%	227	0.09%	175321	22.85%	23	0.01%	73	0.04%

	未接種						接種歴不明					
	陽性者数 (K)	割合 (K/A)	重症 (L)	重症者の割合 (L/K)	死亡 (M)	死亡者の割合 (M/K)	陽性者数 (N)	割合 (N/A)	重症 (O)	重症者の割合 (O/N)	死亡 (P)	死亡者の割合 (P/N)
未就学児	32108	69.69%	9	0.03%	0	0.00%	13663	29.66%	0	0.00%	0	0.00%
就学児	23739	64.44%	1	0.00%	0	0.00%	11862	32.20%	1	0.01%	0	0.00%
10代	37689	35.64%	0	0.00%	0	0.00%	26000	24.58%	1	0.00%	0	0.00%
20・30代	46261	18.91%	4	0.01%	1	0.00%	46390	18.96%	4	0.01%	0	0.00%
40・50代	24553	11.31%	12	0.05%	3	0.01%	38254	17.62%	10	0.03%	13	0.03%
60代以上	7794	6.73%	27	0.35%	63	0.81%	19739	17.05%	53	0.27%	159	0.81%
調査中	110	11.43%	0	0.00%	0	0.00%	303	31.50%	0	0.00%	0	0.00%
総計	172254	22.45%	53	0.03%	67	0.04%	156211	20.36%	69	0.04%	172	0.11%

60代以上新規陽性者の
ワクチン接種歴別重症及び死亡者の割合



※陽性者のワクチン接種状況は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（8月21日判明時点）。令和4年6月30日に発生届様式が変更されたため、変更後の発生届様式に基づくHER-SYSデータを使用して集計し、ワクチン接種回数が未入力の場合は、接種歴不明に分類して集計している。
 ※重症者及び死亡者の割合について令和4年8月21日判明時点までの重症・死亡者数に基づく。今後、重症・死亡者数の推移により変動。
 ※表記の期間内に発生した新規陽性者のワクチン接種歴を単純に集計したものであり、ワクチン接種から検査までの期間が考慮されていないこと、基礎疾患の有無や新型コロナウイルスの感染歴等の背景因子が異なる可能性があること等から、本データによりワクチン接種による予防効果が明らかになるものではない。

3 第七波における大阪府の取組み

若年輕症者オンライン診療スキームの実績について

- ◆ 新規陽性者数(8/3～8/28)に占める、**若年輕症者オンライン診療スキームでの実績の割合は1割以上(11.2%)**
- ◆ 期間中、新規陽性者が1日あたり平均約18,000人発生する中、**医療機関の負担軽減に寄与したと考えられる。**

8/3～

若年輕症者自己検査スキーム

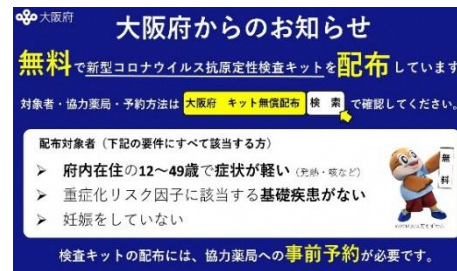
- ・薬局による配布又は自己調達による検査キットを使用したセルフチェックの結果により、オンラインで診断し、発生届提出
- ・①は診療も実施、②は診断のみ

陽性確定計(a)	①検査・オンライン診療受付		②検査確定受付
	A社	B社	D社
29,414人	14,087人	3,021人	12,306人

8/5～

薬局での検査キット配布数

配布薬局数	府民への配布数
1,764薬局	約120,000個



8/3～

若年輕症者無料検査センター

- ・若年輕症者専用の無料検査センターにおいて、検査実施
- ・センター又は提携医療機関から発生届を提出

検査数(b)	陽性者数(c)	陽性率
71,265人	24,402人	34.2%

期間中の公表数値

検査数	新規陽性者数
786,091件 …①	478,866人 …②

※若年輕症者無料検査センター・セルフチェックによる検査件数は含まない。

※若年輕症者オンライン診療スキームによる判明数(発生届出数)を含む。

若年輕症者オンライン診療スキームの実績

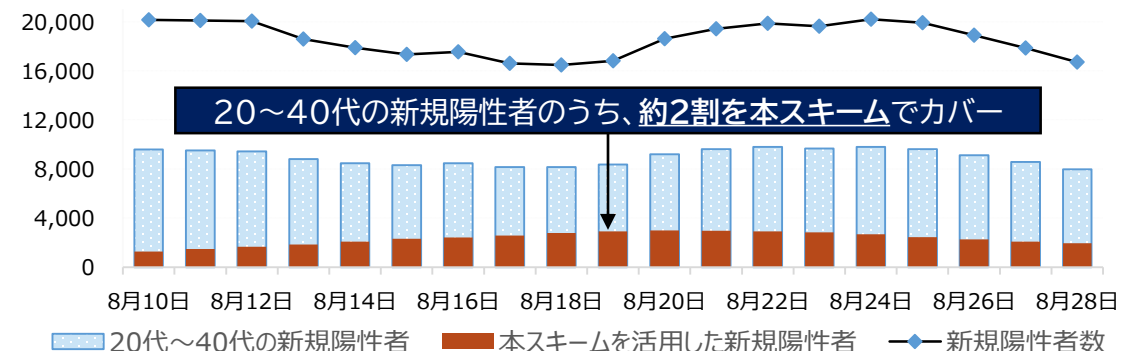
検査数(a)+(b)	新規陽性者数(a)+(c)
100,679件 …③	53,816人 …④

新規陽性者数に占める本スキームによる判明数は1割以上

陽性者数:④/②=53,816人/478,866人=11.2%

参考として、③を含めた場合の検査数に占める本スキームの割合は、③/(①+③)=11.4%

若年者における割合



※数値は1週間移動平均によるもの

「大阪コロナ高齢者医療介護臨時センター・ほうせんか」の運用状況(7/1~8/31)

運用状況

設置期間	令和4年7月1日から令和5年3月末予定
対象患者 診療内容	軽症、中等症Ⅰ程度の要介護3から5程度の患者で原則として自宅において介護サービスを受けることが困難な患者を対象とし、介護的ケアやリハビリ対応を行いつつ、中和抗体薬や経口薬の投与などの治療を実施
定員	38室40人(ツインルーム2室)
入所実績	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ入所者数144人(7/1~8/31) ・最大入所者数30人(8/27)
受入状況	<ul style="list-style-type: none"> ・1日あたり平均3~4人の患者を受入(8月実績) ・入所者の約77%が要介護3以上 ・入所者の約91%が65歳以上、中でも80代が最も多く55%を占めている ・リハビリ等の取り組みにより、平均7.3日で退所(一般ホテル6.5日との乖離は1日未満)
スタッフ	<p>日勤(夜勤)の配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 1~2名(0名) ※夜間はオンコール体制、必要時は20分以内に到着可能 ・薬剤師 1~2名(0名) ・看護師 11名(4名) ・介護士 7名(2名) ・理学、作業、言語聴覚士 2~5名(0名) ・管理栄養士 1名(0名) ・事務スタッフ 3~7名(0名)



居室



全介助の方等が利用する機械浴



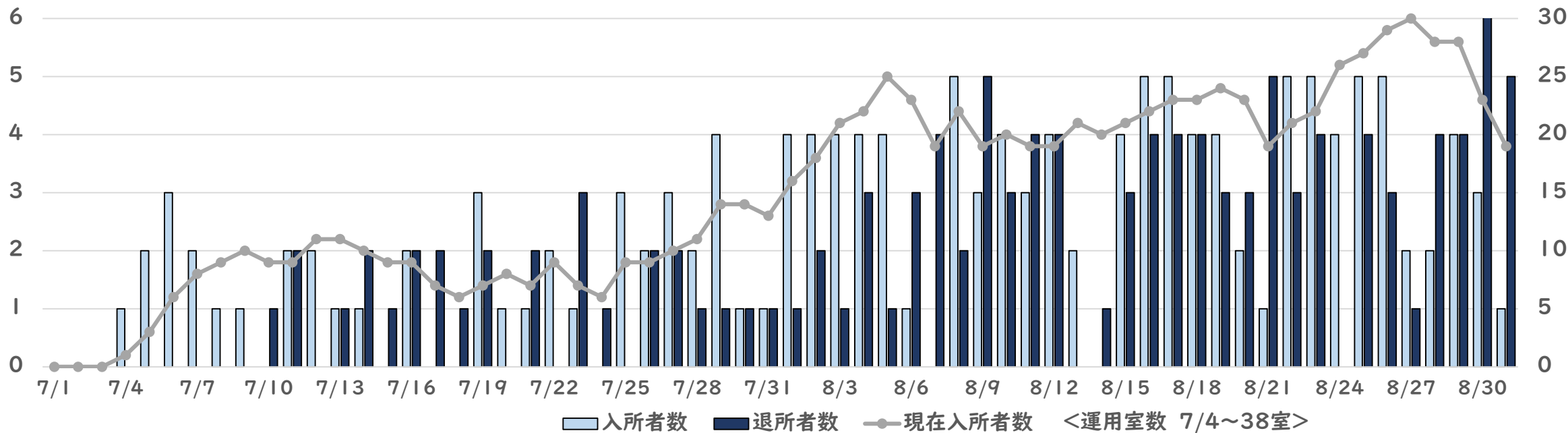
リハビリ風景①



リハビリ風景②

大阪コロナ高齢者医療介護臨時センター・ほうせんかの入退所者数 7/1~8/31

最大入所
30人

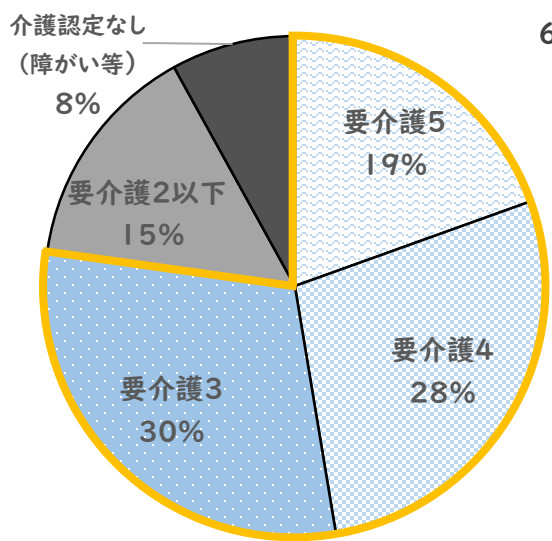


入所実績

性別	
男	52人
女	92人
総計	144人

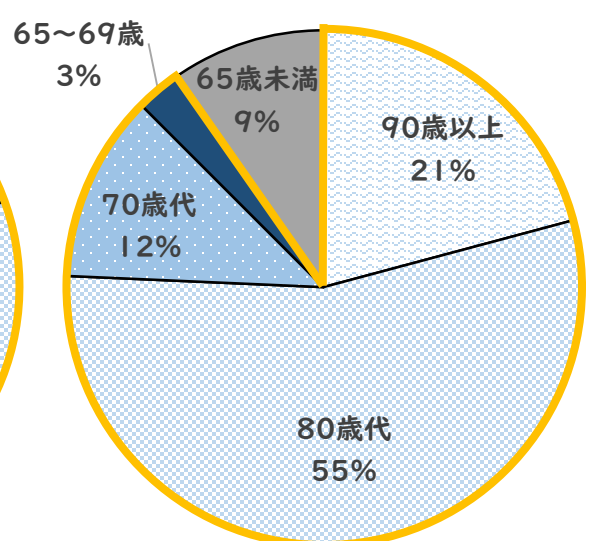
平均在所日数	
本施設	7.3日
高齢者用3ホテル	6.8日
診療型12ホテル	6.7日
一般22ホテル	6.5日

介護度



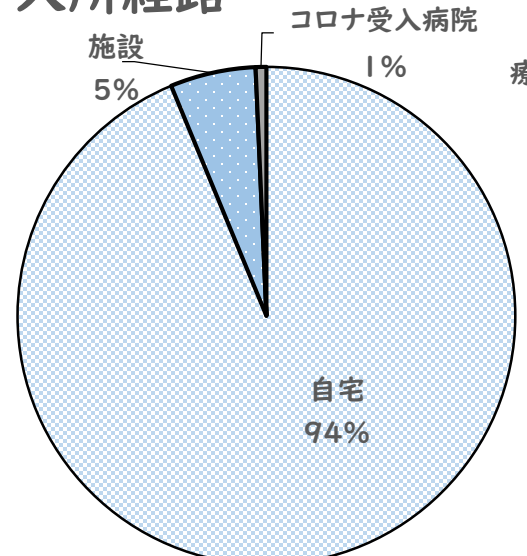
約77%が要介護3以上

年齢割合



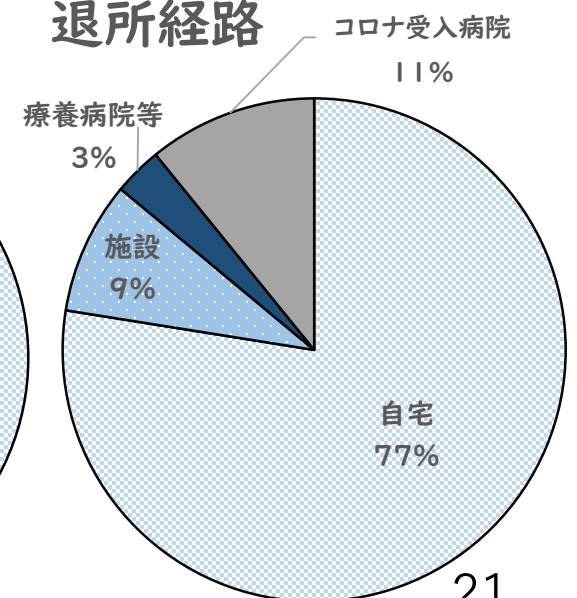
約91%が65歳以上

入所経路



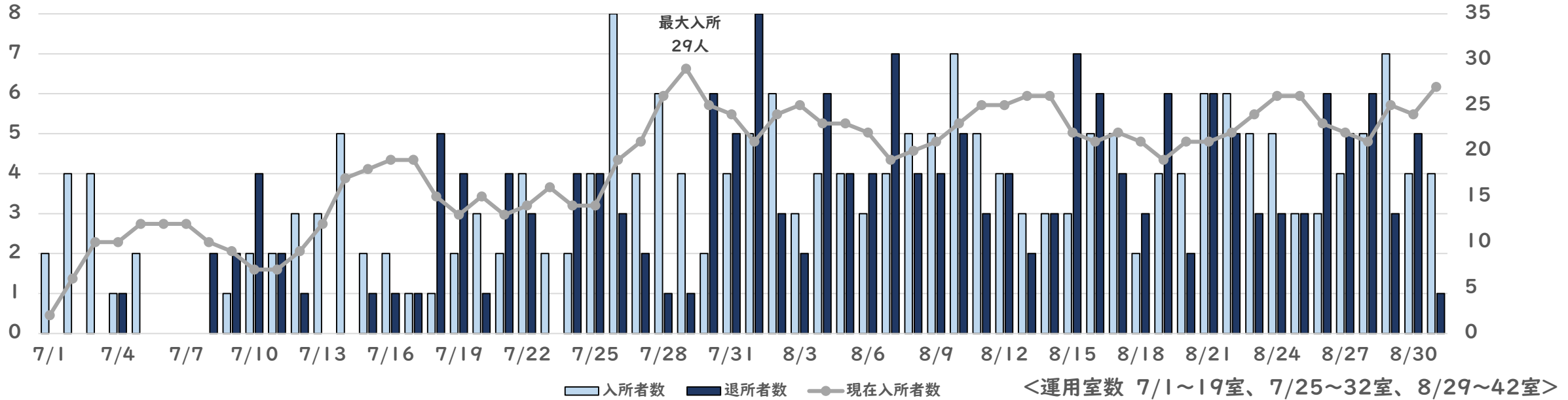
約94%が自宅から入所

退所経路



約77%が自宅へ退所

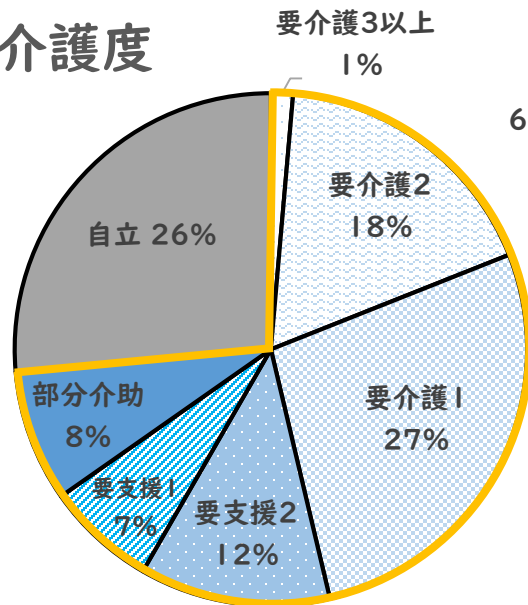
臨時の医療施設・スマイルの入退所者数（生活介助対象者） 7/1～8/31 【参考データ】



入所実績

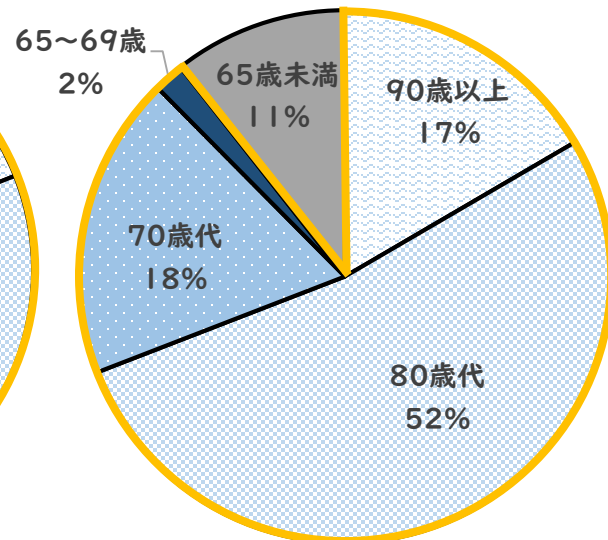
性別	
男	85人
女	132人
総計	217人

介護度



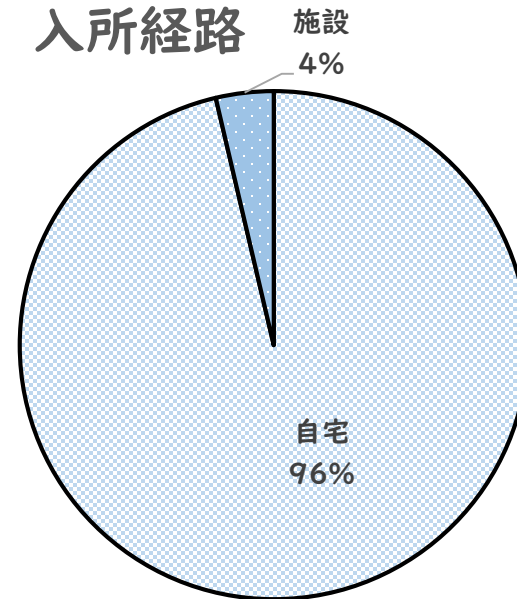
約74%が生活介助の必要な方

年齢割合



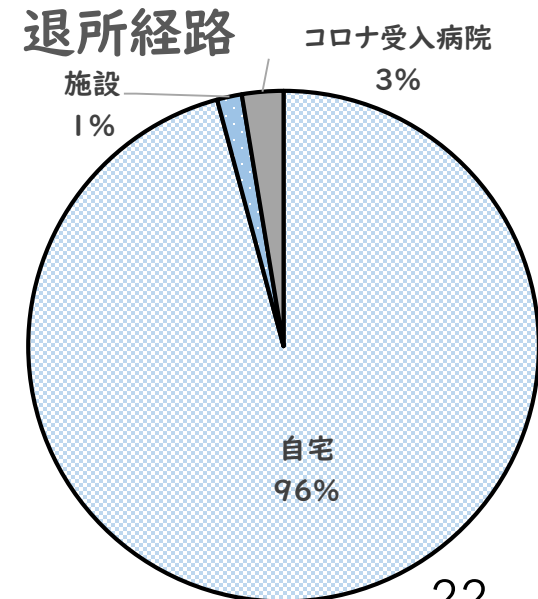
約89%が65歳以上

入所経路



約96%が自宅から入所

退所経路



22
約96%が自宅へ退所

4 全数届出の見直しにかかる 大阪府の対応

- | | | |
|---|---------------|--------|
| ① | 全体の方針 | P23～25 |
| ② | 受診から療養解除までの流れ | P26～28 |
| ③ | 各取組み（詳細スキーム） | P29～34 |
| ④ | 参考資料 | P35～43 |

① 全体の方針

全数届出見直しに伴う大阪府の対応方針

9月8日 新型コロナウイルス感染症対策本部決定「Withコロナに向けた政策の考え方」の主な概要

高齢者・重症化リスクのある者への保健医療の重点化と患者の療養期間の見直しを行うなど、**新型コロナウイルス対策の新たな段階に移行**
⇒**今後、今回を上回る感染拡大が生じて、一般医療や救急医療等を含む我が国の保健医療システムを機能させながら、社会経済活動を維持**

- ①**全国一律の全数届出の見直し（9月26日～）** ※宿泊療養や配食等は、届出の有無にかかわらず、希望する患者に対して実施可能
- ②全国民を対象としたオミクロン株対応のワクチンの接種推進（10月半ばを目途）
- ③陽性者の自宅療養期間を短縮（9月7日～）

全数届出見直しの概要

■ 患者の発生届出の対象を、「**全数**」から、「**4類型**」に限定

※ 4類型：①65歳以上の者、②入院を要する者、③治療が必要な重症化リスク者、④妊娠している者

■ 自宅で速やかな療養開始を希望する方は、**検査キットでセルフチェックし、健康フォローアップセンターに連絡して自宅で療養**

■ 発生届出対象外患者が**安心して自宅療養可能な環境を整備（健康フォローアップセンター）**

■ 陽性者や濃厚接触者に対する**外出自粛要請は継続、届出対象者は就業制限有**

（症状軽快から24時間経過又は無症状の場合には、自主的な感染予防行動の徹底を前提に、生活必需品の買い出しなど必要最小限の外出を許容）

■ 届出対象外患者の方も含めて、**感染者総数を継続把握**

府の対応方針

○国方針に基づき、**9月26日から全数届出を見直し。**

○届出対象外患者の情報を登録する「陽性者登録センター」（新設）と、登録者への支援等につなげる「自宅待機SOS」の機能を合わせた「健康フォローアップセンター」を新たに設置。

○新型コロナが感染症法上2類相当とされていることから、**原則、宿泊療養や配食等の自宅療養支援を継続。**

○自宅療養者の外出自粛のあり方や治療薬の普及など国の動向や他府県の状況も踏まえつつ、**新型コロナウイルス感染症にかかる保健、医療・療養体制について、段階的に、通常の疾患における体制への移行をめざす。**

⇒**行政主導による体制整備から、医療機関、高齢者施設等、府民が各自、「備え」や「対策」を行う「With コロナ」体制への転換**

全数届出見直しに伴う当面の取組み

1 検査体制の再構築

- 抗原定性検査キット配布による、発生届対象外の方へのセルフチェックの環境整備と医療機関による一次トリアージ
- 休日急病診療所の機能拡充や臨時発熱外来の設置促進

詳細:P11

2 保健所業務の重点化

- ファーストタッチの対象者の重点化(75歳以上、65歳~74歳のうち、重症化リスク因子を複数持つ者等)
- 届出対象外患者に対しては、「プッシュ型」から「プル型」(患者からのアプローチ)に転換

3 届出対象外患者(希望者)への行政支援の継続(健康フォローアップセンター設置)

- 「陽性者登録センター(健康フォローアップセンター)」を新設し、療養者情報を登録
- 上記システムを活用し、宿泊療養や自宅療養支援を継続

詳細:P13

4 重症化リスクの低い患者の症状悪化時の対応

- 「自宅待機SOS(健康フォローアップセンター)」による健康相談や宿泊、自宅療養支援等の案内
- オンライン診療・往診等の療養支援体制の強化
- 届出対象外患者の救急搬送体制の構築

詳細:P13、P14

5 入院調整フローの見直しと病床管理

- 行政による入院調整から、病病・病診による入院調整へのさらなる移行
- 大阪府療養者情報システム(O-CIS)を活用した病床管理と入院基準の周知徹底

6 高齢者施設クラスターへの対応

- 施設への支援体制の継続

7 感染拡大期における医療療養体制の強化

- セルフ検査等の活用について呼びかけ強化と発熱外来の受診対象の重点化、発熱外来等実施要請
- オンライン診療・往診等の療養支援体制の強化

詳細:P15

将来、めざす方向

医療機関、高齢者施設等、府民が各自、「備え」・「対策」を行う

「With コロナ」体制

1 オール医療提供体制の確立

- ・発熱外来の強化
- ・病病・病診による入院調整
- ・地域のネットワーク体制強化
(医療提供体制・高齢者施設対策等)

2 行政が管理する患者の重点化

3 自宅での自主療養と医療へのアクセス確保

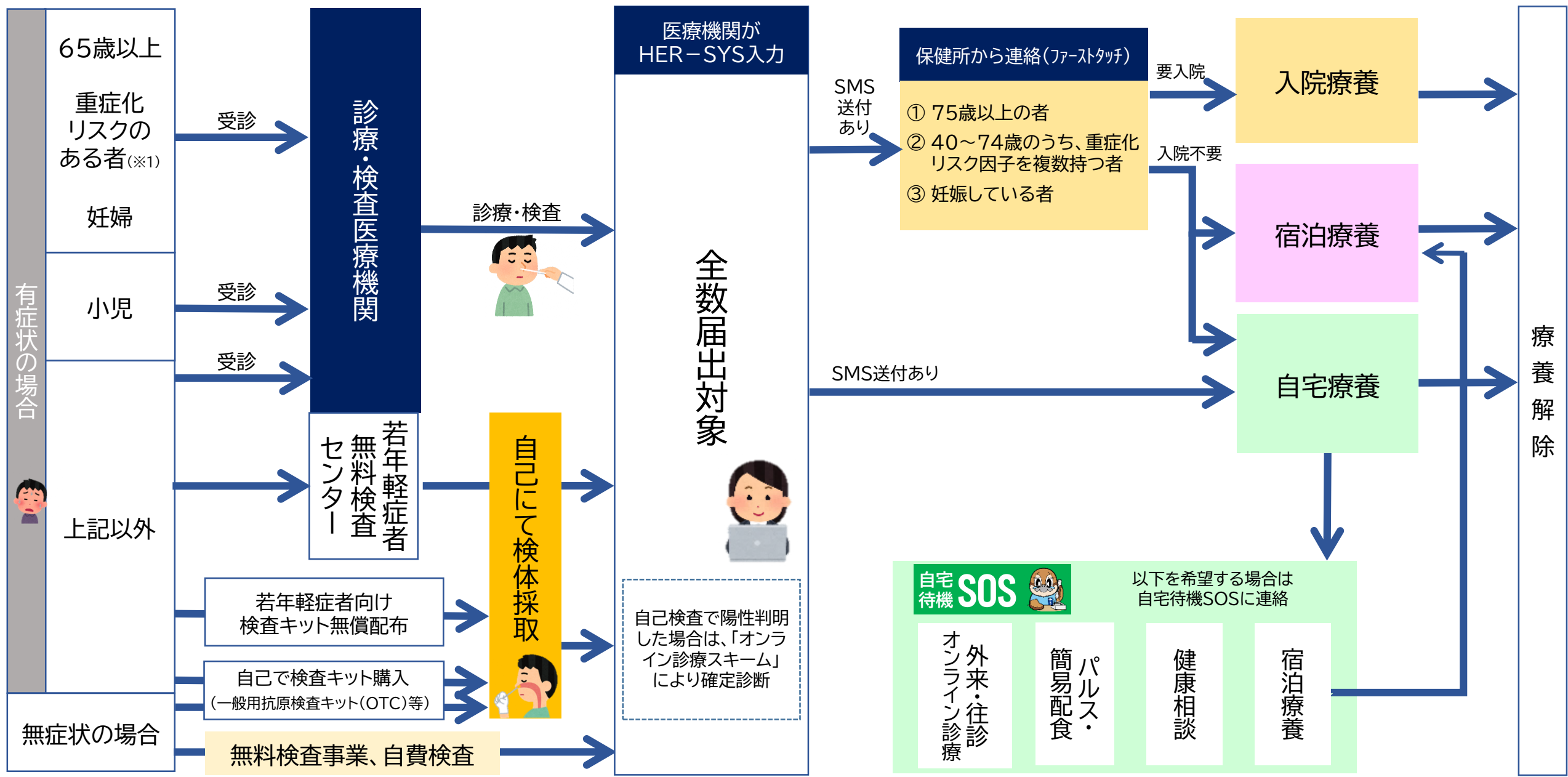
段階的に

通常医療に移行

(通常医療への位置づけには法改正要)

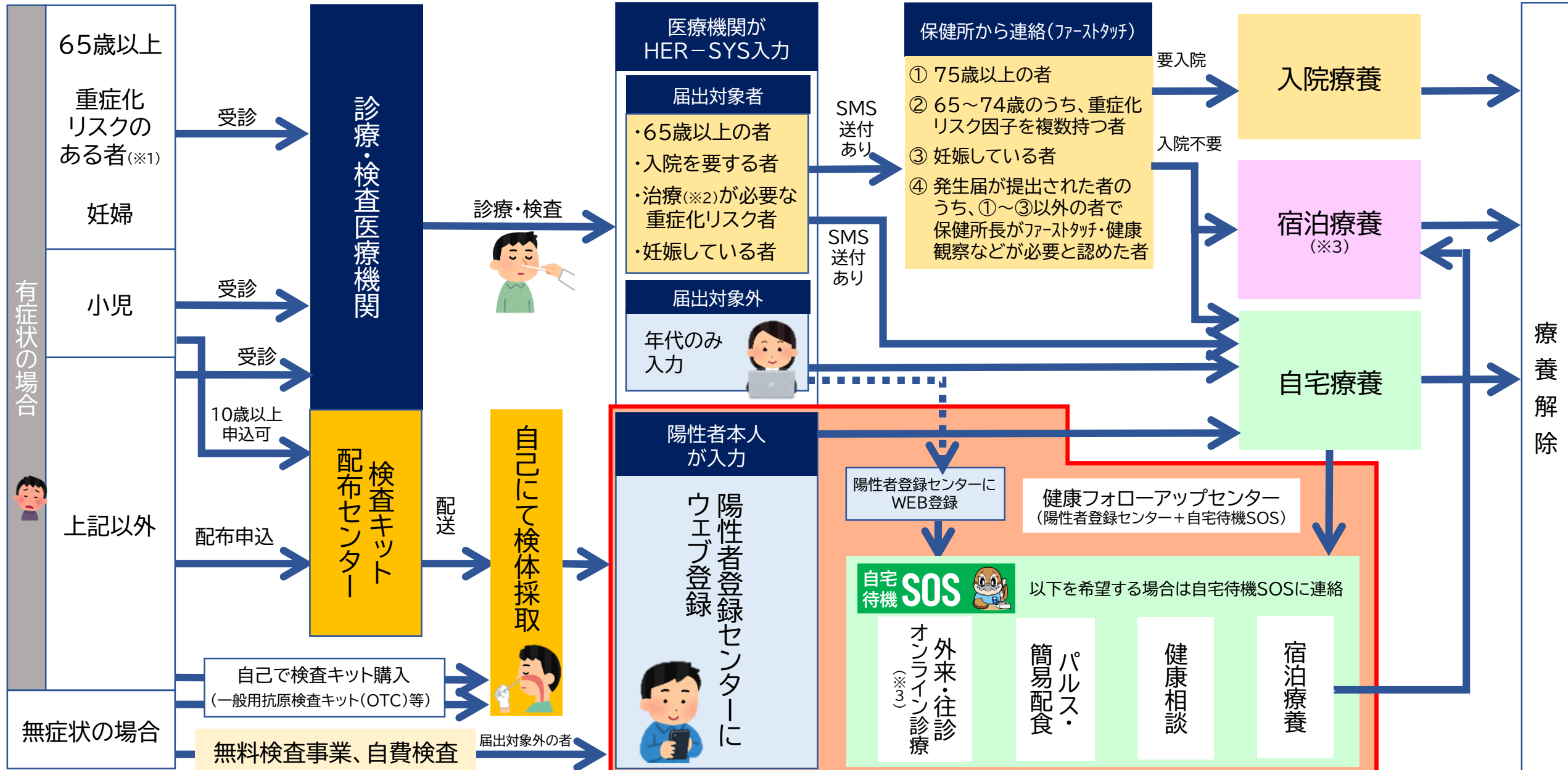
② 受診から療養解除までの流れ

【現行】受診から療養解除までの流れ



(※1)重症化リスクのある者:悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患(COPD等)、慢性腎臓病、心血管疾患、脳血管疾患、喫煙歴、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満(BMI30以上)、臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由による免疫機能の低下の者

【全数届出見直し後】受診から療養解除までの流れ



(※1)重症化リスクのある者: 悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患(COPD等)、慢性腎臓病、心血管疾患、脳血管疾患、喫煙歴、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満(BMI30以上)、臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由による免疫機能の低下の者
 (※2)治療: 新型コロナ治療薬(中和抗体薬(イブディン、セビュティ)、抗ウイルス薬(パロビッド、ラガブリン、バルグリー)、免疫抑制・調整薬(ソリト、トリスマブ、パルシコブ)の投与または新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者
 (※3)発生届対象外の者が治療(新型コロナ治療薬の投与や新たに酸素投与)が必要になった場合や、入院を要する場合は、医師による発生届の提出が必要(保健所長が提出する場合も考えられる)。

③ 各取組み（詳細スキーム）

- ◆ 受診の必要性が低い方で、症状が軽く、速やかに療養開始を希望される場合のセルフ検査を促進するため、検査キット配布センターを設置。
- ◆ WEB申込ができ、外出しなくても医療用の抗原定性検査キットが届く仕組みを構築。

検査キット申込から配送までの流れ

配布対象者(すべてに該当する者)



- 大阪府内に在住
- 10歳～64歳で症状が軽い(発熱・咳等)
※無症状の方は対象外
- 重症化リスクに該当する基礎疾患等がない
- 妊娠していない

【重症化リスク因子】

・肥満(BMI30以上)・高血圧・糖尿病・慢性呼吸器疾患(COPD等)等



スマホで
簡単申込

WEB申込

1～2日で
自宅へ配送



検査キット配布センター

受付・配送における主な機能

- ▶ 医療用の抗原定性検査キット
- ▶ 1回1キットで受付
- ▶ 1日3万人まで配送可能

セルフ検査

陽性判定

健康フォローアップセンターで登録

宿泊療養や配食サービス等を受けることが可能

申込費用：無 料

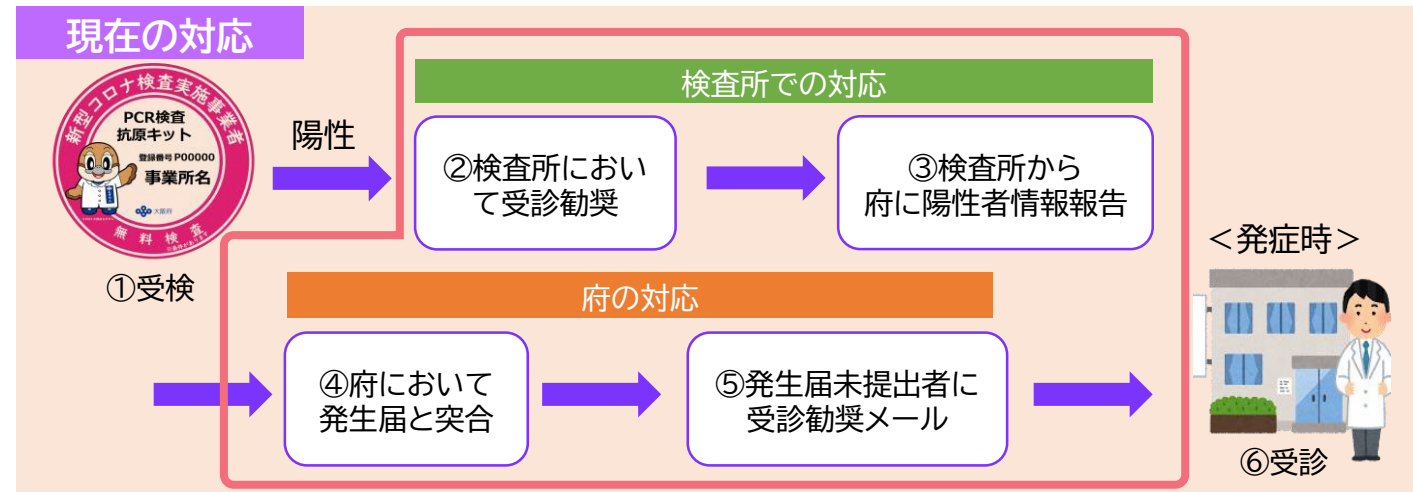
受付開始：9月28日(予定)

- ◆ 全数届出見直し後も、感染状況に応じた知事の受検要請に基づく無料検査事業を継続。(国制度継続が前提)
- ◆ 本事業の陽性判明者(無症状)について、発熱外来のひっ迫を緩和し、高齢者等の受診機会を優先的に確保するため、受診勧奨は廃止。

事業概要

対象	・感染不安を感じる無症状の府民(濃厚接触の可能性のある者は対象外) ※イベント参加等を目的とする検査は8月末に終了
実施期間	・令和3年12月24日～(特措法に基づく受検要請時に実施) ※イベント参加等を目的とする検査は12/23～
実施主体	・衛生検査所、薬局、医療機関(府への登録が必要)
実績	・事業所登録数:約1,200カ所 ・累計検査件数:約260万件 ・陽性判明者数:約17.5万人 陽性判明率6.7%
結果の扱い	・確定診断ではない。発生届提出には医療機関受診を要する <陽性判明時> ・検査所において診療・検査医療機関の受診勧奨 ・PCR検査による場合は、医療機関において再度の検査不要 ・抗原定性検査は無症状者では診断に用いられないため再度の検査を要する ※提携医療機関がある場合は、無料検査受検により当該医療機関から発生届が提出される場合もある。

陽性判明時の対応に係る課題



現対応(受診勧奨)の課題

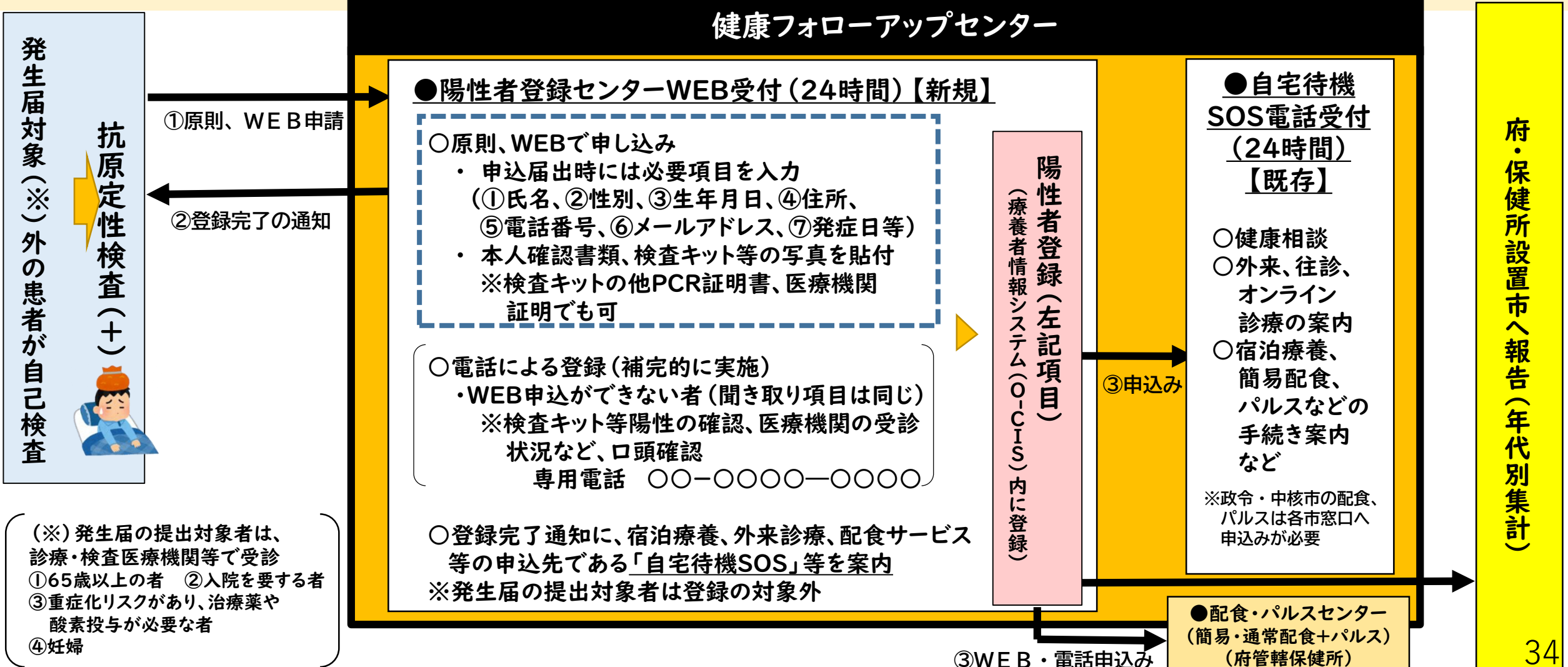
- ・無料検査事業の対象者は、重症化リスクの低い無症状者がほとんど(65歳以上は約1割)
 - ・現在、無症状の濃厚接触者は受診せず自宅療養をしていただく方針
 - ・また、ひっ迫時には有症状の届出対象外の方も受診を控え、セルフ検査による登録を求める方針
- ▶ 重症化リスクの高い方の受診機会の減少や発熱外来ひっ迫に繋がる可能性
診療・検査医療機関の受診対象に係る府の方針と不整合

今後の方針 (9/26～)

- ▶ 無料検査による陽性判明者への受診勧奨の取組み(上記現在の対応②～⑤)は廃止
- ▶ 届出対象外の方については、陽性者登録センターへの登録を勧奨する
- ▶ 無料検査陽性判明者の医療機関の受診は、原則届出対象の方で症状発生時に限ることとする

令和4年9月26日開始

- ◆国の全数届出見直しを踏まえ、新たに「陽性者登録センター」を設置。
- ◆「陽性者登録センター」と既存の「自宅待機SOS」を府の健康フォローアップセンターと位置付け。
- ◆「陽性者登録センター」では、原則、陽性者の登録をWEBで受付（WEBが使えない方などは電話受付）。
- ◆大阪府療養者情報システム（O-CIS）を活用し登録の管理。
- ◆「陽性者登録センター」への登録については、登録完了を通知。療養証明書は発行しない。



②登録完了の通知

③申込み

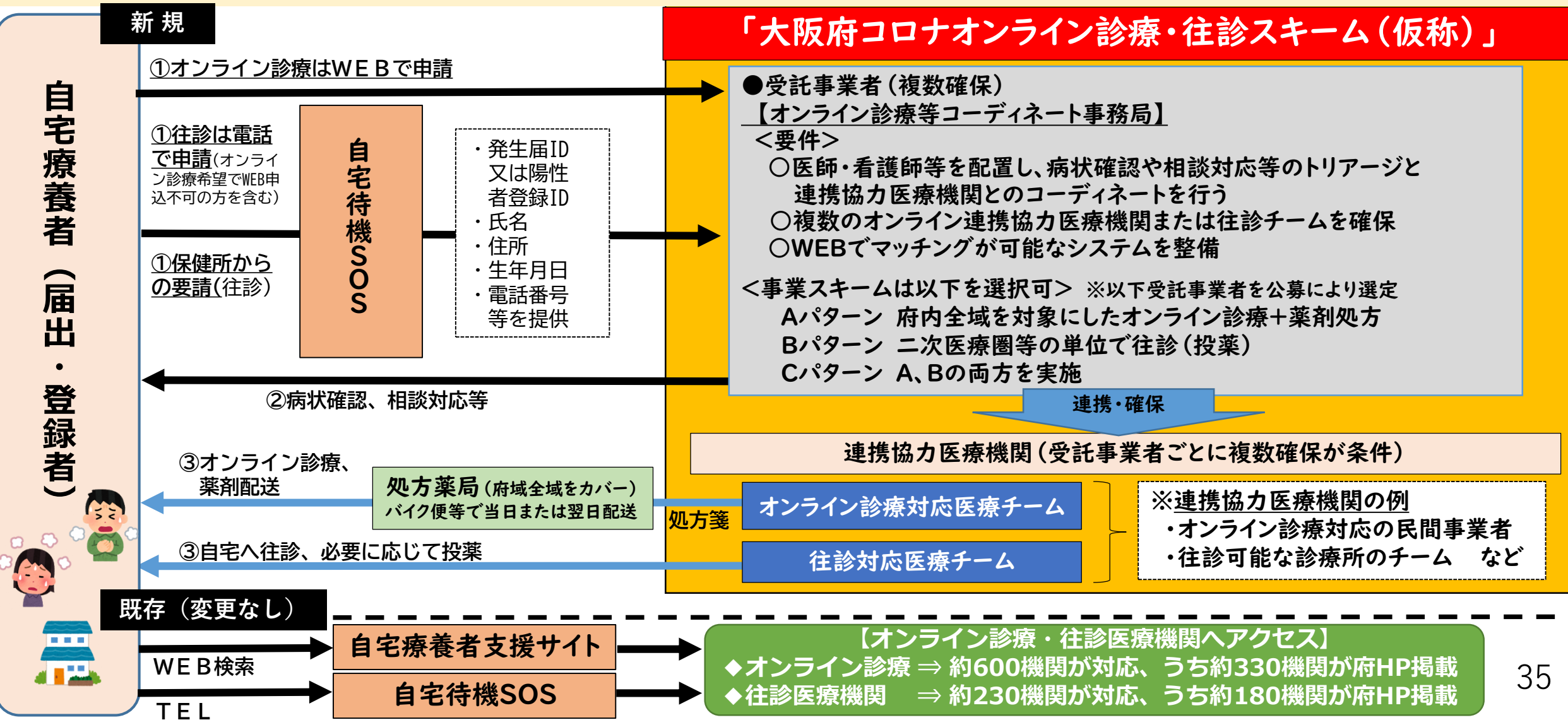
③WEB・電話申込み

●配食・パルスセンター（簡易・通常配食+パルス）（府管轄保健所）

（※）発生届の提出対象者は、診療・検査医療機関等で受診

- ①65歳以上の者
- ②入院を要する者
- ③重症化リスクがあり、治療薬や酸素投与が必要な者
- ④妊婦

- ◆陽性登録者で発熱などの症状がある者に対する診療、薬剤処方が可能なオンライン診療・往診の充実を図る。
- ◆既存事業を再構築し、自宅療養者が日中、休日夜間にオンライン診療・往診にアクセスできるよう、「大阪府コロナオンライン診療・往診スキーム(仮称)」を開始する。
※詳細な公募条件等は検討中
- ◆次の感染拡大に備え、新事業実施に向けた受託事業者の公募を行う。(9月下旬公募開始、受付期間:10月の一定期間(予定))



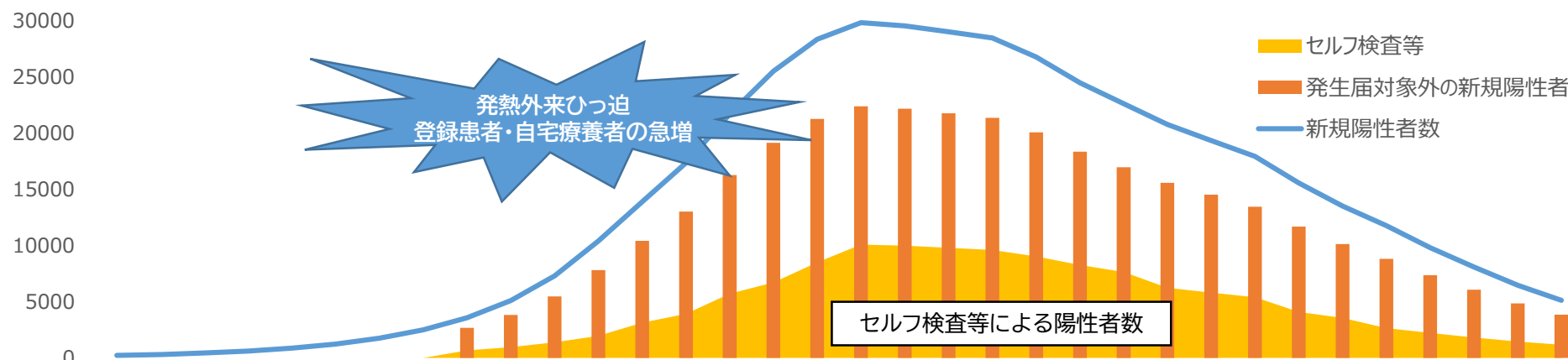
- ◆ 今後、感染者数が急拡大した際、発熱外来がひっ迫する可能性が高いことを踏まえ、対応の考え方を整理。
- ◆ 発熱外来がひっ迫した際は、受診対象の重点化を行うとともに、休診等への発熱外来実施要請を行う。
- ◆ また、健康フォローアップセンターへの登録者や登録せず自宅で待機する陽性者の急増も予測されるため、自宅待機SOSの回線拡充やオンライン診療・往診スキームの体制の立ち上げを行う。

通常時の対応

①発熱外来	症状に応じて診療・検査医療機関等を受診
②健康FC	自己検査に基づく登録患者を支援
③自宅療養者支援	自宅待機SOSからオンライン診療機関等を案内

感染急拡大時の対応

セルフ検査等の活用について呼びかけ強化と発熱外来の受診対象の重点化 休日診療所等へ発熱外来実施を要請
登録者増に備えて自宅待機SOS等の体制を拡充
オンライン診療等の体制充実 (オンライン診療・往診スキームを10月末に立ち上げ)



ひっ迫判断の参考指標 次の指標をもとに総合的に判断し、感染急拡大時の対応に強化

- ▶ **直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数**(HER-SYSに登録があった者に限る)が1,000人超
- ▶ **1週間平均陽性率**(HER-SYSに登録があった数を分子とする)が50%超
- ▶ **医療機関における検査数の1週間平均**が30,000件超

※終了には一定の周知期間や医師会等との調整が必要なが想定されるため、数値基準を設けず、感染状況や検査資材のひっ迫状況等を踏まえて総合的に判断する。

④参考資料

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み①

	項目	現行	見直し後（案）
感染動向・療養状況の把握	患者把握 (HER-SYS)	<p>■入力 医療機関が入力（一部保健所が代行）</p> <p>■対象・内容 全数発生届提出 *重症化リスクのある方 7項目+回数、重症化リスク因子の有無等 （①氏名、②性別、③生年月日、④所在地、⑤電話番号、⑥診断類型、⑦報告日） *重症化リスクのない方 7項目</p>	<p>■入力 同左</p> <p>■対象・内容 * 4類型：発生届提出（変更なし） 4類型 ①65歳以上の者、②入院を要する者、 ③治療が必要な重症化リスク者、④妊娠している者 * 重症化リスクがあるが、治療が必要でない者（発生届の対象外）： 人数・年代のみ入力</p>
	(陽性者登録センター)	-	<p>■入力 患者自身が「陽性者登録センター」（健康フォローアップセンター内）に必要事項を入力</p> <p>■対象・内容 以下の必要項目を登録 ①氏名 ②性別 ③生年月日 ④住所、⑤電話番号、⑥メールアドレス ⑦発症日 ※本人確認書類と検査キット等の写真を添付</p>
	患者公表	○届出全数	○HER-SYS報告数（人数・年代のみを含む） + 陽性者登録センター登録者数 ※公表内容については、性別や自宅療養者数等、一部把握困難なものを除き、現行を維持
	大阪モデル	○各指標・見張り番指標により感染・療養状況を日々モニタリング・公表	○現行の指標等によるモニタリングを継続・公表 ※新規陽性者数は、HER-SYS者数及び陽性者登録センター登録者数

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み②

	項目	現行	見直し後（案）
検査体制	検査対象	○有症状者：診療・検査医療機関を受診・検査 ※医療非常事態期間：20歳～49歳（※自己検査スキーム12歳～19歳も可） 向けに、「若年輕症者オンラインスキーム」を構築 ○無症状者：検査キットを購入、自己検体採取又は無料検査・自費検査	○有症状者：診療・検査医療機関を受診（若年輕症者はセルフ検査） ※ 発熱外来ひっ迫時は、セルフ検査等の活用について呼びかけ強化や発熱外来の受診対象の重点化を実施 ○無症状者：同左
	検査キットの配布	○若年輕症者オンラインスキームの対象に薬局で配布 ※薬局（1,764か所）に協力金を交付	○ 薬局での配布は9/27で終了 ○ 10歳～64歳を対象に、配布センターからの配送に切り替え
	若年輕症者無料検査センター	○20～49歳対象に、48か所で実施	○ 9/27で終了 ※国の方針に基づき、 検査キット配布によるセルフチェックの環境整備
	休日急病診療所	○43施設中、12施設で検査実施	○ 休日急病診療所の機能拡充や臨時発熱外来の設置促進
保健所業務・体制	ファーストタッチ	■対象 ①75歳以上の方 ②40歳以上75歳未満の方のうち、重症化リスク因子を複数持つ方 ③妊娠している方	■対象 ①同左 ② 65歳 以上75歳未満の方のうち、重症化リスク因子を複数持つ方 ③同左 ④ 発生届が提出された者のうち、上記①～③以外の者で保健所長がファーストタッチ・健康観察などが必要と認めた方
	SMS発信	○ファーストタッチ対象外の患者には、SMSで情報発信	○発生届の対象者全員にSMSで情報発信 発生届出対象外の患者には、SMSによる情報発信なし
	疫学調査	○施設調査（ハイリスク施設）	同左
	外出自粛要請等	○陽性者・濃厚接触者に対する外出自粛要請 ○陽性者に対する就業制限	○同左（ただし、症状軽快から24時間経過又は無症状の場合には、自主的な感染予防行動の徹底を前提に、生活必需品の買い出しなど必要最小限の外出可） ○ 就業制限は、発生届の対象者のみ適用
	業務体制	○府管轄保健所に事務処理センターを設置 ①SMS送信、②HER-SYS入力、③証明書発行、④電話対応業務 ○府内医療機関へ健康観察(HER-SYS入力含む)業務を委託	○ 府管轄保健所の事務処理センターを見直し（派遣職員が対応） ○ 府内医療機関への健康観察等業務委託を終了（9月末） 府管轄保健所にAIOCRを導入 。政令中核市は独自で導入検討

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み③

	項目	現行	見直し後（案）
医療・療養体制	入院	<p>○保健所が入院フォローアップセンターへ調整依頼（一部、圏域内調整あり）</p> <p><感染症法上の入院措置・勧告の対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者 ・新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる患者 	<p>○同左</p> <p><感染症法上の入院措置・勧告の対象※></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者 <u>（自己検査等で陽性であった場合を含む）</u> ・新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる患者 <p>※発生届の提出の有無に関わらない</p>
	救急搬送	<p>○保健所が調整（一部、入院フォローアップセンターや圏域内調整あり）</p> <p><感染症法上の移送の対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者 ・新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる患者 	<p>○同左</p> <p><感染症法上の移送の対象※></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者 <u>（自己検査等で陽性であった場合を含む）</u> ・新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる患者 <p>※発生届の提出の有無に関わらない</p>
	自宅療養（健康相談（自宅待機SOS））	<p>【健康相談】（希望者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■実施主体 自宅待機SOS ■対象 O-CISで発生届が確認できる者 発生届未確認の者は療養上の助言指導のみ実施 ■内容 ・基礎情報と相談内容確認 ・必要時公費支援（往診・オンライン診療・訪問看護等）につなげる 	<p>【健康相談】（希望者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■実施主体 同左 ■対象 発生届の対象者 + 陽性者登録センター登録者 未登録の方は陽性者であることを口頭で確認し、相談を受ける。 ■内容 同左（未登録者で公費支援を希望する者には陽性者登録をすすめる） <p>※医師の新規配置（陽性者登録センターからの相談・助言を含む）。</p>

※入院・療養の考え方（令和4年7月15日）は変更なし

※発生届の対象外患者について、入院、救急搬送、オンライン診療・往診、外来診療、診療型宿泊療養など、医師が入院やコロナ治療が必要と判断した場合は、**医師（保健所長が提出する場合も考えられる）が発生届を提出**

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み④

自宅療養
(オンライン
診療・
往診)

項目	現行	見直し後(案)
	<p>■ 支援対象 発生届対象者</p> <p>■ 調整方法</p> <p>【オンライン診療】</p> <p>① オンライン診療医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診医療機関を確認し、本人が受診予約 保健所及び自宅待機SOS、府ホームページ（医療機関のリストを掲載） <p>② 若年若症者オンライン診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府HPにリンク掲載の事業者サイトから本人が受診予約 <p>③ 夜間・休日専用オンライン診療受付センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅待機SOSから事業者を受診予約 <p>【往診】</p> <p>① 往診医療機関 ・上記に同じ</p> <p>② 往診チーム体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所から往診チームの基幹診療所に依頼 <p>③ 夜間・休日対応の自宅療養者緊急相談センター (相談・往診、必要に応じてオンライン診療を手配)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所から自宅療養者緊急相談センターの受託事業者依頼 <p>■ 支援体制・対応数</p> <p>【オンライン診療】</p> <p>① オンライン診療医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約600機関が対応、うち約330機関が府HP掲載 <p>② 若年若症者オンライン診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2事業者（最大約2,000人/日） <p>③ 夜間・休日専用オンライン診療受付センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1事業者（最大約30人/日） <p>【往診】</p> <p>① 往診医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約230機関が対応、うち約180機関が府HP掲載 <p>② 往診チーム体制 9チーム（42機関）</p> <p>③ 夜間・休日対応の自宅療養者緊急相談センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 3事業者（最大約40人/日） 	<p>■ 支援対象 発生届の対象者 + 陽性者登録センター登録者</p> <p>■ 調整方法</p> <p>○ 「オンライン診療①」・「往診①」は同左</p> <p>○ 左記の「オンライン診療②③」及び「往診②③」の各支援事業を再構築し、新たに「大阪府オンライン診療・往診スキーム（仮称）」の実施を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フォローアップセンター（自宅待機SOS）から事業者へ診療を依頼 <p>※ オンライン診療はWEB等で直接申込み可とする</p> <p>■ 支援体制・対応数</p> <p>○ 「オンライン診療①」・「往診①」は同左</p> <p>○ 「オンライン診療②③」及び「往診②③」の各支援事業を再構築し、新たに「大阪府オンライン診療・往診スキーム（仮称）」の実施を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数事業者で約2,000～3,000人/日に対応（想定）

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み⑤

	項目	現行	見直し後（案）
医療・療養体制	自宅療養 (外来 診療病院)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象 自宅療養者 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象 以下の自宅療養者 <u>(発生届の対象者又は陽性登録者)</u>のうち、<u>診療・検査医療機関、オンライン診療、往診等での対応が困難な者</u> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者 ・重症化リスクを有する者 ・小児、妊婦、精神疾患のある患者 ・上記の他、医師・保健所が外来診療病院での診療が必要と認める者
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 受診予約方法 <ul style="list-style-type: none"> ・以下にて受診医療機関を確認し、本人が受診予約 自宅待機SOS 府ホームページ（医療機関のリストを掲載） もしくは ・オンライン・往診等の診察結果を受け、保健所が受診予約 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受診予約方法 <ul style="list-style-type: none"> ・以下にて、受診医療機関を確認し、本人が受診予約 <ul style="list-style-type: none"> ・自宅待機SOS <u>(上記対象患者であることを確認の上、案内)</u> ・府ホームページ <u>(上記対象患者を明記の上、医療機関のリストを掲載)</u> もしくは ・<u>診療・検査医療機関、オンライン診療、往診等の医師が、必要に応じ、案内</u> <u>(保健所による受診予約もあり)</u>

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み⑥

	項目	現行	見直し後（案）
医療・療養体制		<p>■ 支援対象（希望者）</p> <p>【簡易配食・パルス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府内全域の届出対象者 <p>【通常配食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府管轄保健所の届出対象者 （政令中核市は独自で実施） 	<p>■ 支援対象（希望者）</p> <p>【簡易・通常配食、パルス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発生届の対象者 + 陽性者登録センター登録者 ただし、簡易・通常配食は以下の方を対象外 <ul style="list-style-type: none"> ・無症状者 ・有症状の場合で症状軽快から24時間経過し、食料品の買い出しが可能な方 ・外出可能な同居家族がいる方 <p>※通常配食については、政令中核市において上記を踏まえ判断</p>
	自宅療養（簡易配食・パルス）	<p>■ 調整方法</p> <p>【簡易配食・パルス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅待機SOSまたは配食・パルスセンターにおいて受付 （発生届未確認者も自宅待機SOSで受付） <p>※府管轄保健所でファーストタッチしている方は、保健所からパルスを送付</p> <p>【通常配食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食・パルスセンターにおいて受付 （政令中核市（大阪市除く）は独自で実施） 	<p>■ 調整方法</p> <p>【簡易・通常配食、パルス】</p> <p>同左</p>
		<p>■ 支援内容</p> <p>【簡易配食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3日程度の簡易なもの <p>【通常配食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍弁当及び冷凍麺類、丼物の具などを療養解除日まで配送 	<p>■ 支援内容</p> <p>【簡易・通常配食】</p> <p>同左</p>

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み⑦

宿泊療養

項目	現行	見直し後（案）
	<p>■ 入所対象者（希望者） ○ 届出対象者</p> <p>«以下の者を優先入所» ・重症化リスクのある者（BMI25 以上や基礎疾患等。無症状含む） ・自宅において適切な感染管理対策が取れない者 （同居家族に高齢者、免疫不全等要配慮者、医療・介護従事者がいる者） ・ADLが自立しており、集団生活のルールが遵守できる者</p>	<p>■ 入所対象者（希望者） ○ 発生届の対象者 ＋陽性者登録センター登録者</p> <p>«以下の者を優先入所» 同左</p> <p>※発生届の対象者及び陽性者登録センター登録者のうち、重症化リスクのある患者は、原則、診療型へ入所 重症化リスクのない登録者は、原則、一般型へ入所</p>
	<p>■ 入所調整 ○ 発生届確認 保健所または自宅待機SOSで手続き ○ 発生届未確認 自宅待機SOSで手続き</p>	<p>■ 入所調整 ○ 発生届の対象者 同左 ○ 発生届出対象外の患者 陽性者登録センターに登録のうえ、自宅待機SOSで手続き</p>
	<p>■ 健康観察 ① ホテル看護師が健康観察記録をHER-SYSに入力 （発生届未確認者はO-CISに入力） ② 自宅待機SOS経由で宿泊療養となる場合は、保健所がO-CIS上の基礎情報を確認し、宿泊療養を決定 ③ 保健所は適宜電話で健康状態を確認（療養期間中） ④ 保健所は入所者の療養の場の変更や解除の決定、トラブル事案への本人、家族等への対応</p>	<p>■ 健康観察 ① ホテル看護師が健康観察を実施 ・発生届の対象者はHER-SYSに入力 ・陽性者登録センターはHER-SYSに代わる登録システムO-CISに入力 ② 陽性者登録センター登録者についても実施 ③ 廃止（ホテル看護師が実施） ④ 陽性者登録センター登録者についても実施 ※ 無症状者の検査キットでの療養期間の短縮は対応しない</p>
	<p>■ 搬送手段 民間タクシー</p>	<p>■ 搬送手段 同左</p>
	<p>■ 確保室数 1万室</p>	<p>■ 全数届出見直し後の状況や療養期間短縮の影響を踏まえて検討</p>

全数届出見直しに伴う大阪府の取組み⑧

項目	現行	見直し後（案）
クラスタ対策 高齢者施設対策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発生の探知 <ul style="list-style-type: none"> ① HER-SYSの情報による探知 ② 施設から保健所への発生連絡による探知 ③ 施設からOCRTへの発生連絡による探知 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発生の探知 同左 ただし、施設から保健所への発生連絡を周知徹底し、発生探知を強化
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設職員の感染把握 <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者施設等定期検査の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設職員の感染把握 同左
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援内容（OCRT,往診） <ul style="list-style-type: none"> ① 感染制御 保健所、OCRT、専門家派遣事業 ② 治療 往診協力医療機関、重点往診チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援内容（OCRT,往診） 同左
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援体制 <ul style="list-style-type: none"> ① OCRT専用電話設置 ② 往診専用ホットライン設置 ③ 保健所で高齢者施設等対応チーム設置 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援体制 同左